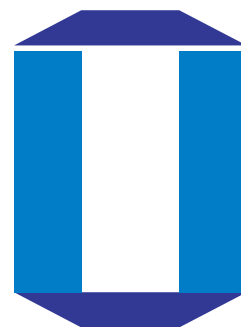


岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

2022



OKAYAMA
UNIVERSITY

2022年度 学生募集要項

私費外国人留学生選抜

【出願期間】

2022年1月24日（月）～2022年1月27日（木）

※出願期間以降に到着した願書は2022年1月26日（水）の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のものまで受理します。

学生募集を行う学部一覧

学 部	学 科	募集人員	学 部	学 科		募集人員
文 学 部	人 文 学 科	若干人	歯 学 部	歯 学 科		若干人
法 学 部	法 学 科（ 昼 間 コ ー ス ）	若干人	薬 学 部	薬 学 科		若干人
経済学部	経済学科（ 昼間コース ）	若干人		創 薬 科 学 科		
理 学 部	数 学 科	若干人	工 学 部	工学科	機 械 シ ス テ ム 系	若干人
	物 理 学 科				環 境 ・ 社 会 基 盤 系	
	化 学 科				情 報 ・ 電 気 ・ 数 理 データサイエンス系	
	生 物 学 科				化 学 ・ 生 命 系	
	地 球 科 学 科					
医 学 部	医 学 科	若干人	農 学 部	総 合 農 業 科 学 科		若干人
	保 健 学 科					

（注1） 試験に関する重要なお知らせが生じた場合（災害の発生や大規模な感染症の流行を含む。）は、下記 HP により周知を行いますので、必ず確認してください。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、選抜日程及び選抜方法等を変更する場合も、下記 HP により周知を行いますので、必ず確認してください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/prospective/index.html>

（注2） 日本国外から来学する場合は、日本への入国に際して待機期間が設けられている場合があるので、留意してください。

（注3） 新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、今年度限りの特例措置として、追試験を実施します。詳しくは12ページをご覧ください。

SDGs の視点から特別選抜

～地域・世界と共創できる「未来の SDGs 実践人」の選抜に向けて～

岡山大学では、学校推薦型選抜や総合型選抜などの特別選抜において、「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」の視点から出題を行い、世界共通の社会課題に関心を持ち、課題解決に意欲と探求心を持つ人を選抜する入試を実施することとしました。

本学のアドミッション・ポリシーは、「本学での教育に必要な資質と基礎学力を有し、本学での主体的な学修を通じて持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身に付けることに強い意欲を持つ人」であり、国際バカロレア選抜をはじめ、多様な入試方法により国内外から広く受け入れています。

本学の理念・目的である「高度な知の創成と的確な知の継承」と「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」に基づき、2017 年から SDGs 達成への貢献を本学の教育研究・社会貢献の全ての活動の中核におき、SDGs 活動を通じた地域や世界の多様な皆様とのパートナーシップを築いてまいりました。

また、本学が拠点とする岡山地域は、豊かな自然と歴史を持つとともに、古くから社会課題の解決に挑戦してきた地域であり、「社会課題解決の遺伝子」を受け継ぐ本学は、ESD (持続可能な開発のための教育) により、アジア初の国際的な知の共有プログラムであるユネスコチェアにも認定されています。以上のような背景から、本学では、現在各学部・大学院がその特色や強みを生かし、全学を挙げて SDGs 学習と研究を推進しています。

「持続可能な地球と、より良き人類社会」の実現に向けて、岡山の地で共に本学の SDGs 教育研究活動に取り組む意欲のある皆さんの入学をお待ちしています。

岡山大学長

榎野 博史



目 次

	ページ
1 募 集 人 員	1
2 出 願 資 格	1
3 出 願 手 続	3
4 受 験 票 の ダ ウ ン ロ ード	6
5 入 学 者 選 抜 方 法	7
6 配 点 基 準	10
7 合 格 者 発 表	11
8 入 学 手 続	11
9 留 学 の た め の ビ ザ 取 得 手 続	12
10 追 試 験 の 実 施	12
11 学 部 別 入 試 担 当	13
12 受 験 者 心 得	14
13 WEB 出 願 の 流 れ	16
14 出 願 書 類 の 整 理	20
15 出 願 上 の 注 意	20
16 受 験 票 ダ ウ ン ロ ード に つ い て	21
17 障 が い 等 の あ る 方 の 出 願	23
18 受 験 生 宿 泊 申 込	23
19 入 試 情 報 の 開 示	23
20 ア ド ミ ッ シ ョ ン ・ ポ リ シ ー 等	24
21 学 生 生 活 等	35
〔 1 入 学 料 及 び 授 業 料, 2 入 学 料 の 徴 収 猶 予 等, 3 外 国 人 留 学 生 宿 舎, 4 学 生 マ ン シ ョ ン ・ ア パ ー ト 等 の 紹 介, 5 福 利 厚 生 施 設 〕	
22 大 学 案 内 図 等	37

入学試験情報ホームページ

岡山大学ホームページ (<https://www.okayama-u.ac.jp>)
から「受験生の方」をクリックしてください。

1 募 集 人 員

学 部	学 科 等	募集人員
文 学 部	人文学科	若干人
法 学 部	法学科（昼間コース）	若干人
経 済 学 部	経済学科（昼間コース）	若干人
理 学 部	数学科，物理学科，化学科，生物学科，地球科学科	若干人
医 学 部	医学科，保健学科	若干人
歯 学 部	歯学科	若干人
薬 学 部	薬学科，創薬科学科	若干人
工 学 部	工学科機械システム系，工学科環境・社会基盤系，工学科情報・電気・数理データサイエンス系，工学科化学・生命系	若干人
農 学 部	総合農業科学科	若干人

2 出 願 資 格

本学に出願できる者は，次の（１）～（５）のすべてに該当するものです。

- （１） 日本国籍を有しない者
- （２） 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において，学校教育における１２年の課程を修了した者及び２０２２年３月３１日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和５６年文部省告示第１５３号）

※「外国において，学校教育における１２年の課程を修了した者」とは，「外国の正規の学校教育における１２年目の課程を修了した者」を指します。

※１２年未満の課程の場合は，更に指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - ② 外国において，学校教育における１２年の課程修了相当の学力認定試験に合格し，２０２２年３月３１日までに１８歳に達するもの（昭和５６年文部省告示第１５３号）
 - ③ 外国において，指定された１１年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程で，文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び２０２２年３月３１日までに修了見込みの者（昭和５６年文部省告示第１５３号）
 - ④ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ⑤ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ⑥ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑦ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を有する者
 - ⑧ 国際的な評価団体（WASC，CIS，ACSI）の認定を受けた教育施設の１２年の課程を修了した者
- （３） 出入国管理及び難民認定法において，大学入学に支障のない在留資格を有する又は有する見込みのある者
- （４） 独立行政法人日本学生支援機構が実施する２０２０年度日本留学試験（２０２０年１１月実施分）又は２０２１年度日本留学試験（２０２１年６月実施分又は２０２１年１１月実施分）の本学が指定する次表の試験教科・科目を受験した者

※新型コロナウイルス感染症の拡大により，一部の地域で２０２１年度６月試験分の日本留学試験が中止になったことを受け，今年度の選抜に限り，２０２０年度日本留学試験の成績での出願を認めます。

(5) 日本留学試験の成績が次の点数の者

文学部は、合計得点が580点以上（記述の得点は含まない。）の者

経済学部は、合計得点が560点以上（記述の得点は含まない。）、総合科目110点以上、数学110点以上の者

歯学部は、日本語225点以上、数学100点以上、理科100点以上（生物50点以上、他の1科目50点以上、合計100点以上）の者

学部名（学科名）	日本留学試験の試験教科・科目の指定							出題言語 の 指 定
	日本語	総合 科目	数 学	理 科				
				物理	化学	生物	備 考	
文学部（人文学科）	○	○	コース1 又は コース2					日 本 語
法学部（法学科(昼間コース)）	○	○	コース1					日 本 語
経済学部（経済学科(昼間コース)）	○	○	コース1 又は コース2					自由選択
理学部（数学科, 地球科学科）	○		コース2				2科目自由選択	自由選択
理学部（物理学科）	○		コース2	○			他1科目自由選択	自由選択
理学部（化学科）	○		コース2		○		他1科目自由選択	自由選択
理学部（生物学科）	○		コース2		○	○		自由選択
医学部（医学科）	○		コース2			○	他1科目自由選択	自由選択
医学部（保健学科）	○		コース1				2科目自由選択 (注1)	自由選択
歯学部（歯学科）	○		コース2			○	他1科目自由選択	自由選択
薬学部 (薬学科, 創薬科学科)	○		コース2		○		他1科目自由選択	自由選択
工学部 (工学科機械システム系)	○		コース2	○			他1科目自由選択	自由選択
工学部 (工学科環境・社会基盤系, 工学科情報・電気・数理デ ータサイエンス系, 工学科化学・生命系)	○		コース2				2科目自由選択 (注2)	自由選択
農学部（総合農業科学科）	○		コース2				2科目自由選択	自由選択

※ ○印は、試験を課すことを表します。

※ 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校及び中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この入試に出願することはできません。

（注1） 医学部保健学科放射線技術科学専攻の理科は、物理は必須です。また、化学又は生物から1科目を選択してください。

（注2） 工学部工学科環境・社会基盤系のうち、都市環境創成コースに進む学生は、物理は必須です。また、化学又は生物から1科目を選択してください。

3 出 願 手 続

出願手続は、次のとおり行ってください。

(1) 出 願 方 法

出願はインターネット出願(インターネットによる志願者登録及び出願書類の郵送)のみとします。
入学志願者は、本学の「インターネット出願ページ (<https://e-apply.jp/ds/okayama-u/>)」より出願し、志願者登録及び入学検定料決済を行ってください。その後、

- ・私費外国人留学生選抜志願票
- ・入学検定料支払証明書
- ・出願書類提出用封筒宛名

をダウンロードし、カラー印刷してください。

出願書類提出用封筒(市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm))は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。

最後に(5)の「出願に必要な書類等」のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ(Ⅷ、Ⅸは該当者のみ)とともに、作成した出願書類提出用封筒に一括して入れ、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

詳細は16～19ページを参照してください。

(注) 送付された願書等が本学に到着した後に、到着した旨の連絡はいたしません。また、配達されているかを確認する場合は、「郵便追跡サービス」をご利用ください。

【URL : <https://trackings.post.japanpost.jp/services/srv/search/>】

(2) 出 願 期 間

2022年1月24日(月) から2022年1月27日(木) 17時(必着)

(注1) これ以降に到着したものは、2022年1月26日(水)の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のものまで受理します。郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(注2) インターネット出願ページへの入力とは2022年1月17日(月)10時00分から可能です。
詳細はインターネット出願ページ (<https://e-apply.jp/ds/okayama-u/>) の「入試日程はこちら」をご確認ください。

(3) 特 例 事 項

やむを得ず持参する場合は、2022年1月27日(木)に限り認めます。

同日の9時00分から17時00分までに、次の(4)の提出先にあらかじめ連絡をした上で、持参するようにしてください。

(4) 提 出 先

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1 岡山大学学務部入試課 【電話 (086)251-7192～7194】 【メールアドレス dce7193@adm.okayama-u.ac.jp】
--

(5) 出願に必要な書類等

出願書類提出用封筒は、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を使用してください。私費外国人留学生選抜身上記録はホームページ掲載の様式を使用してください。

なお、出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、必ず、その日本語訳を添付してください。

出願に必要な書類等	摘 要
I 志 願 票 II 入学検定料支払証明書 (インターネット出願ページで志願者登録を行い、ダウンロードしたものをカラー印刷する)	本学の「インターネット出願ページ (https://e-apply.jp/ds/okayama-u/)」より出願し、志願者登録を行ってください。志願者登録終了後、入学検定料決済を行ってください。 写真は、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に正面向、上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 入学検定料 17,000 円の支払方法は、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングのいずれかでお支払いください（入学検定料の支払確認後、志願票の「入学検定料支払証明書」欄に「決済済」と表示されます。それぞれの支払方法に関する詳細は「インターネット出願ページ」をご確認ください。その後、 ・私費外国人留学生選抜志願票 ・入学検定料支払証明書 ・出願書類提出用封筒宛名 をダウンロードし、<u>カラー印刷</u>してください。 出願書類提出用封筒（市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm））は出願書類提出用封筒宛名を貼り付けて作成してください。 <u>入学検定料の返還について</u> 次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。 （ ）内は返還額 ア 入学検定料を支払ったが岡山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 （17,000 円） イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合 （17,000 円） ウ 下記入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合 （17,000 円） ※ 詳細については、本学のホームページ (https://www.okayama-u.ac.jp) から「入試」→「入学検定料の返還手続き」をご確認ください。 <u>入学検定料の免除について</u> 本学では、2020 年 4 月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、学部入試等において、入学検定料免除の措置を講じます。 詳細については、本学のホームページ (https://www.okayama-u.ac.jp) から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。

出願に必要な書類等	摘 要
Ⅲ 修了証明書等	- 出願資格(2)の①, ③又は⑧に該当する者は、最終学校（外国における日本の高等学校に対応する）の修了証明書又は修了見込証明書を提出してください。修了証書及び卒業証書は、不可とします。 （ただし、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了又は修了見込みの者等は、その証明書も提出してください。） - 出願資格(2)の②に該当する者は、当該検定の合格証明書を提出してください。 - 出願資格(2)の④に該当する者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し(コピー)を提出してください。 - 出願資格(2)の⑤に該当する者は、アビトゥア資格取得者に授与される一般の大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の写し(コピー)を提出してください。 - 出願資格(2)の⑥に該当する者は、バカロレア資格取得者に授与されるバカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の写し(コピー)を提出してください。 なお、バカロレア資格証書が未発行の場合は、バカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes)をもって修了証明書等に代えることができます。 - 出願資格(2)の⑧に該当する者は、当該教育施設が国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI)から認定を受けていることが確認できる書類を併せて提出してください。
Ⅳ 成績(評価)証明書 (コピーでは、受け付けられません。)	- 出願資格(2)の①, ③又は⑧に該当する者は、最終学校（外国における日本の高等学校に対応する）の成績証明書を提出してください。 - 出願資格(2)の②に該当する者は、当該検定の成績証明書を提出してください。 - 出願資格(2)の④に該当する者は、IB最終試験6科目の成績評価証明書を提出してください。 - 出願資格(2)の⑤に該当する者は、一般的大学入学資格証明書に記載されている成績によるので、提出は不要です。 - 出願資格(2)の⑥に該当する者は、バカロレア資格試験成績証明書を提出してください。 - 出願資格(2)の⑦に該当する者は、GCEAレベル資格試験の成績評価証明書を提出してください。
Ⅴ 身 上 記 録	ホームページ掲載の様式に、必要事項を入学志願者本人が記入し、提出してください。 【URL】https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/bosyuyoko.html
Ⅵ 日 本 留 学 試 験 成 績 確 認 書 (2020年度日本留学試験受験者は成績通知書の写し(コピー))	2020年度日本留学試験の成績通知書の写し(コピー)又は日本留学試験のホームページからダウンロードした2021年度日本留学試験の成績確認書を印刷して提出してください。日本国外で受験した方は、2020年度又は2021年度日本留学試験の成績通知書の写し(コピー)を提出してください。 ただし、複数回受験した方は、本学の選抜に成績を利用する回の成績確認書又は成績通知書の写し(コピー)を提出してください。
Ⅶ 国 籍 を 証 明 す る 書 類	現に日本国に在住する者 在留カードの両面コピー(A4サイズ) 又は 市区町村長の交付する住民票(原本) (国籍・在留資格・在留期間が明示されたもの)
	日本国外に在住する者 パスポートのコピー(A4サイズ) (氏名・国籍・顔写真が掲載されているページ)
Ⅷ 日 本 語 学 校 の 成 績 証 明 及 び 出 席 状 況 を 証 明 す る 書 類 (文 学 部)	日本語学校に在籍中若しくは在籍経験がある者は、成績証明書及び在籍期間中における出席状況を証明する書類(A4サイズ)(当該学校長が作成したもの)を提出してください。

出願に必要な書類等	摘 要
IX TOEFL 又は TOEIC の 成 績 証 明 (経済学部, 工学部)	・ TOEFL[※]による出願者 : 試験日の2年前から出願までの間に受験したテストの Test Taker Score Report (または Examinee Score Report) の原本を提出してください。提出された原本は、本学で確認後、速やかに返送します。 ※経済学部については、TOEFL iBT 又は TOEFL PBT のいずれかとする。 ※TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL iBT Special Home Edition の成績は認めません。 ・ TOEIC による出願者 : 試験日の2年前から出願までの間に受験した TOEIC Listening & Reading テストの Official Score Certificate (公式認定証) の原本を提出してください。提出された原本は、本学で確認後、速やかに返送します。

(注) 1 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあるので注意してください。

- 2 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- 3 出願書類の整理については、20 ページを参照してください。
- 4 出願書類等及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。

なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。

・入学者の氏名、生年月日、性別、出願資格、入学学部・学科等の個人情報を、本学の学務情報システムで利用します。

なお、入学者のうち、入学料徴収猶予申請者、授業料免除申請者については、入学試験成績の個人情報を、それぞれの学力判定処理に利用することがあります。

・合格者の氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理システム及び授業料免除システムで利用します。

4 受 験 票 の ダ ウ ン ロ ード

- (1) 受験票は、2022年2月4日(金)に出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信しますので、受験票をダウンロードして印刷してください。

なお、メールが2022年2月5日(土)までに届かない場合であっても、出願が受理されていれば、2022年2月4日(金)以降に受験票のダウンロードができますので21～22ページを参照して受験票をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合、学務部入試課へ連絡してください。

連絡先 : 【電話 (086) 251-7192～7194】

(注) ドメイン設定において、「@e-apply.jp」及び「@adm.okayama-u.ac.jp」からのメールを受信できるように設定しておいてください。

- (2) 岡山大学受験票は、個別学力検査等受験及び入学手続の際に必要となるので、大切に保管しておいてください。

5 入 学 者 選 抜 方 法

入学者の選抜は、書類審査及び学力検査等の結果を総合して行います。ただし、歯学部において面接の得点が50点未満の者及び、薬学部において面接の得点が60点未満の者は、不合格者とします。

(1) 学力検査等

学 部	選抜方法等	日本留学試験 を 課 す	本学が実施する学力検査等
文 学 部		○	日本語作文と面接を課します。
法学部法学科(昼間コース) 経済学部経済学科(昼間コース)			小論文と面接を課します。
理 学 部			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語、理科及び数学の試験と面接を課します。
数 学 科			面接を課します。
物 理 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語、理科及び数学の試験と面接を課します。
化 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語、理科及び数学の試験と面接を課します。
地 球 科 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と小論文及び面接を課します。
理 学 部 生 物 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語及び理科の試験と面接を課します。
医 学 部 医 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と小論文及び面接を課します。
医 学 部 保 健 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語及び理科の試験と面接を課します。
歯 学 部			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語及び理科の試験と面接を課します。
薬 学 部			一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と小論文及び面接を課します。
工 学 部 工 学 科		○	一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と面接を課します。
機 械 シ ス テ ム 系			一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と面接を課します。
環 境 ・ 社 会 基 盤 系			一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と面接を課します。
化 学 ・ 生 命 系		○	一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と面接を課します。
工 学 部 工 学 科			一般選抜(前期日程)受験生と同一の理科及び数学の試験と面接を課します。
情 報 ・ 電 気 ・ 数 理 デ ー タ サ イ エ ン ス 系			一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語及び理科の試験と面接を課します。
農 学 部		○	一般選抜(前期日程)受験生と同一の外国語及び理科の試験と面接を課します。

(2) 学力検査等の日程及び試験場

【試験日 2022年2月25日(金)・26日(土)(26日(土)は医学部医学科のみ)】

学 部		教 科 等	試験時間	試 験 場	
文 学 部		日本語作文	9：00～10：30	文 学 部	
		面 接（口述試験を含みます。）	13：00～		
法 学 部 法学科(昼間コース)		小 論 文（日本語）	9：00～10：30	法 学 部	
		面 接（口述試験を含みます。）	13：00～		
経 済 学 部 経済学科(昼間コース)		小 論 文（日本語）	9：00～10：30	経 済 学 部	
		面 接	13：00～		
		T O E F L [※] 又はT O E I C L & R [*] の成績の提出を課します。			
理 学 部	数 学 科 地 球 学 科	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00	理 学 部	
		理 科〔物理, 化学, 生物から 1科目〕	(注)2参照 12：30～13：30		
		面 接（口述試験を含みます。）	(注)7参照 14：00～15：30		
		数 学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕	(注)1参照 16：00～18：00		
	物 理 学 科	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00		
		理 科（物理）	(注)2参照 12：30～13：30		
		面 接（口述試験を含みます。）	(注)7参照 14：00～15：30		
		数 学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕	(注)1参照 16：00～18：00		
	化 学 科	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00		
		理 科（化学）	(注)2参照 12：30～13：30		
		面 接（口述試験を含みます。）	(注)7参照 14：00～15：30		
		数 学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕	(注)1参照 16：00～18：00		
	生 物 学 科	面 接（口述試験を含みます。）	(注)7参照 14：00～		
医 学 部	医 学 科	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00	津 島 キ ャ ン パ ス 一 般 教 育 棟 (A・B・C棟)	
		理 科〔物理, 化学, 生物から2科目〕	(注)2参照 12：30～14：30		
		数 学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕	(注)1参照 16：00～18：00		
		面 接【2月26日(土)】	9：00～		鹿田キャンパス 医 学 部
	保 健 学 科	看 護 学 攻 専 攻	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00	津 島 キ ャ ン パ ス 一 般 教 育 棟 (A・B・C棟)
			面 接	11：10～12：00	
			理 科〔物理, 化学, 生物から1科目〕	(注)2参照 12：30～13：30	
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00	
			面 接	11：10～12：00	
			理 科〔物理(必須) 化学, 生物から1科目〕	(注)2, 4参照 12：30～14：30	
			数 学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕	(注)1参照 16：00～18：00	
		検 査 技 術 科 学 専 攻	外 国 語（英語）	(注)3参照 9：00～11：00	
			面 接	11：10～12：00	
			理 科〔物理, 化学, 生物から2科目〕	(注)2参照 12：30～14：30	
			数 学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B〕	(注)1参照 16：00～18：00	

※経済学部については、TOEFL iBT 又は TOEFL PBT のいずれかとします。

* TOEIC L&R は TOEIC Listening & Reading を示します。

学 部			教 科 等	試験時間	試 験 場
歯 学 部			小 論 文 (日本語)	9 : 00～10 : 30	津 島 キ ャ ン パ ス 一 般 教 育 棟 (A・B・C棟)
			面 接	10 : 40～11 : 10	
			理 科 [物理, 化学, 生物から2科目] (注)2参照	12 : 30～14 : 30	
			数 学 [数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B] (注)1参照	16 : 00～18 : 00	
薬 学 部			外 国 語 (英語) (注)3参照	9 : 00～11 : 00	薬 学 部
			理 科 [化学 (必須) 物理, 生物から1科目] (注)2, 9参照	12 : 30～14 : 30	
			面 接	16 : 00～	
工 学 部	機 械 システム系	小 論 文 (日本語)	9 : 00～10 : 30	工 学 部	
		面 接 (口述試験を含みます。)	10 : 40～12 : 00		
		理 科 [物理(必須) 化学, 生物から1科目] (注)2, 5参照	12 : 30～14 : 30		
		数 学 [数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B] (注)1参照	16 : 00～18 : 00		
		T O E F L又はT O E I C L & Rの成績の提出を課します。			
	環 境・社会 基 盤 系	小 論 文 (日本語)	9 : 00～10 : 30		
		面 接 (口述試験を含みます。)	10 : 40～12 : 00		
		理 科 [物理, 化学, 生物から2科目] (注)2, 6参照	12 : 30～14 : 30		
		数 学 [数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B] (注)1参照	16 : 00～18 : 00		
		T O E F L又はT O E I C L & Rの成績の提出を課します。			
	情 報・電気・ 数 理 データ サイエンス系	面 接 (口述試験を含みます。)	9 : 00～		
		理 科 [物理, 化学, 生物から2科目] (注)2参照	12 : 30～14 : 30		
		数 学 [数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B] (注)1参照	16 : 00～18 : 00		
		T O E F L又はT O E I C L & Rの成績の提出を課します。			
		化 学 ・ 生 命 系	小 論 文 (日本語)		9 : 00～10 : 30
	面 接 (口述試験を含みます。)		10 : 40～12 : 00		
	理 科 [物理, 化学, 生物から2科目] (注)2参照		12 : 30～14 : 30		
	数 学 [数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B] (注)1参照		16 : 00～18 : 00		
	T O E F L又はT O E I C L & Rの成績の提出を課します。				
	農 学 部				外 国 語 (英語) (注)3参照
理 科 [物理, 化学, 生物から 2科目] (注)2参照				12 : 30～14 : 30	
面 接 (口述試験を含みます。)				15 : 00～	

- (注) 1 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」は全範囲を出題範囲とします。「数学B」は, 「数列」と「ベクトル」を出題範囲とします。
- 2 「物理」は, 「物理基礎」の内容を, 「化学」は「化学基礎」の内容を, 「生物」は「生物基礎」の内容を含みます。
- 3 「英語」は, 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」を出題範囲とします。
- 4 医学部保健学科放射線技術科学専攻の理科は, 物理は必須です。また, 化学又は生物から1科目を選択してください。
- 5 工学部工学科機械システム系の理科は, 物理は必須です。また, 化学又は生物から1科目を選択してください。
- 6 工学部工学科環境・社会基盤系のうち, 都市環境創成コースに進む学生は, 物理は必須です。また, 化学又は生物から1科目を選択してください。
- 7 理学部及び農学部面接では, 英文の資料を用いることがあります。
- 8 各学部(試験場)の配置については, 38～39 ページを参照してください。
- 9 薬学部の理科は, 化学は必須です。また, 物理又は生物から1科目を選択してください。

6 配 点 基 準

区 分			書 類 審 査				教 科 ・ 科 目 等					計
			日本留学試験		そ 成 の 績 の 証 他 明	T の 成 O E F L 証 等 明	小 論 作 文 文 含	面 接	数 学	外 国 語	理 科	
			選 択 式	記 述 式								
文 学 部			100	*	*		200	200				500
法学部法学科(昼間コース)			100		*		200	100				400
経済学部経済学科(昼間コース)			200	*	*	*	200	100				500
理 学 部	数 学 科		可・否		*			可・否	500	100	100	700(可・否)
	物 理 学 科								300	200	200	700(可・否)
	化 学 科								200	200	200	600(可・否)
	生 物 学 科		800	400						1,200		
	地 球 科 学 科		可・否	*		可・否	300	200	200	700(可・否)		
医	医 学 科		800					※	400	400	400	2,000
学 部	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	800					200		200	200	1,400
		放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	} 800				} 200	} 200	} 200	} 400	} 1,800	
歯 学 部			可・否				100	#100	100		100	400 (可・否)
薬 学 部			可・否					★100		100	200	400 (可・否)
工 学 部	工 学 科	機 械 シ ス テ ム 系	可・否				100	可・否	200		200	500 (可・否)
		環 境 ・ 社 会 基 盤 系	可・否				100	可・否	200		200	500 (可・否)
		情 報 ・ 電 気 ・ 数 理 データサイエンス系	100		*		可・否	200		200	500 (可・否)	
		化 学 ・ 生 命 系	可・否				100	可・否	200		200	500 (可・否)
農 学 部			600		*			300		100	200	1,200

(注) 1 *は、面接評価に含まれます。

2 文学部、法学部、理学部、工学部、農学部は、口述試験を含みます。

3 ※の面接は、総合判定の資料とし、評価によっては、書類審査及び学力検査等の成績に関わらず不合格となる場合があります。

4 #の歯学部の面接において、得点が50点未満の者は、不合格者とします。

5 ★の薬学部の面接において、得点が60点未満の者は、不合格者とします。

6 同一教科で複数科目を課している場合の科目毎の配点は、等分とします。

7 合格者発表

2022年3月8日(火) 15時00分の予定

- 1 岡山大学ホームページに合格者の受験番号を発表し、同日付けで、合格者には合格通知書及び入学案内等(入学手続書類)を本人あてに発送します。合格者発表直後は、サーバへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

ホームページへの掲載期間は、2022年3月8日(火)から2022年3月15日(火)までとします。

- 2 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

8 入学手続

合格者は、次の各事項に十分注意して、入学手続を完了してください。

- (1) 入学手続期限 2022年3月17日(木) 17時00分までに必着(郵送)
- (2) 入学手続方法 合格通知書とともに送付する「入学案内」を熟読の上、次の必要書類等を整え、入学手続期限までに必着するよう「書留・速達」として郵送してください。
※入学手続期限日の5日前までに「入学案内」等が届かない場合は、13ページの11学部別入試担当までご連絡ください。
- (3) 入学手続に必要なもの
 - ① 岡山大学受験票
 - ② 入学料 282,000円(予定額)
(注) 1 入学時に入学料改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用されます。
2 入学料は、入学案内はさみ込みの「入学料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含みます。)窓口からの振込(ATMは利用しないでください。)による納入となります(振込手数料が別に必要)。
 - ③ 上記以外の本学所定のもの
- (4) 留意事項
 - ① (1)の入学手続期限までに入学手続を完了しなかった場合は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。
 - ② 入学料の振込のみでは、入学手続を行ったことにはなりません。
 - ③ 入学料の免除及び徴収猶予を希望する方は、35ページの「学生生活等」を参照してください。
 - ④ 本学の入学手続を完了した方は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできません。

感染予防について

医学部(医学科、保健学科)及び歯学部では、入学当初より病院見学・実習があります。自身の感染、あるいは、自身から患者(特に免疫能が低下した患者)への感染を防ぐために感染対策が必要であり、入学前に予防接種を義務化しています。麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の4種類のウイルス疾患について、ワクチン接種歴(2回の接種が必要)が不足している場合、入学までに必要な予防接種を済ませるようお願いいたします。予防接種の記録は大切に保管しておいてください。詳細な案内文は、合格通知書とともに送付します。

9 留学のためのビザ取得手続

留学のため日本に入国するには、「留学 (Student)」ビザを取得する必要があります。ビザの取得手続については、下記サイトを参照してください。

【ビザの取得手続】

https://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/japanese/interstudents/students_prospective/2-01acquisition_procedure_of_visa.html

10 追試験の実施

岡山大学では、新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、今年度限りの特例措置として、以下のとおり追試験を実施します。

(ア) 追試験の対象者

次のいずれかに該当する者で、(イ) の申請受付期間内に追試験の申請をしたもの。

- ①試験当日に、新型コロナウイルスに感染しており、治癒していない者
- ②新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者として保健所から指定され検査結果が判明していない者
- ③海外在住の者で、新型コロナウイルス感染症の影響により渡日が困難なもの

(イ) 申請受付期間

試験前日 (2月24日 (木)) まで	9時00分～17時00分 (土・日・祝日を除く。)
試験当日 (2月25日 (金))	8時30分～18時00分
試験当日 (2月26日 (土))	8時30分～18時00分 ※医学部医学科のみ

(ウ) 申請方法等

①必要書類

- ・医師の診断書 ((ア) 追試験の対象者①②に該当する者のみ。新型コロナウイルス感染症に感染していること (疑いがあることを含む。) 及び加療期間が明記されたもの。ただし、(ア) 追試験の対象者②に該当する者は、病院から発行された検査中である旨の文書。)
- ・出国又は日本への入国が困難であることがわかる文書等 ((ア) 追試験の対象者③に該当する者のみ。外務省や航空会社のホームページのスクリーンショットなど。)
- ・岡山大学受験票

②申請方法

(イ) の受付期間内に下記まで連絡の上、その指示に従ってください。

岡山大学学務部入試課

試験前日 (2月24日 (木)) まで 【電話】 086-251-7192～7194

試験当日 (2月25日 (金)) 【電話】 086-251-7192

試験当日 (2月26日 (土)) 【電話】 086-251-7192～7194 ※医学部医学科のみ

※申請受付期間後は、いかなる理由があっても追試験の受験を申請することはできません。また、その場合は欠席扱いとなり、入学検定料返還の対象となりません。

※追試験の受験を許可された場合、2月25日 (金) 及び医学部医学科の2月26日 (土) の本試験は受験できません。

※追試験の受験許可の単位は、原則として、2日分又は1日分の教科・科目等です。ただし、一つの教科・科目等でも受験した場合は、受験済みの教科・科目等を無効とし、追試験の選抜方法によって選抜します。選抜方法の詳細については、受験票ダウンロードの際にあわせてお知らせします。

(エ) 追試験の試験日

2022年 3月 5日 (土)

※追試験についての追試験は実施しません。

※入試日程等の詳細については、受験票ダウンロードの際にあわせてお知らせします。

(オ) 合格者発表

追試験の合格者発表は、本試験の合格者発表に含めて行います。本試験の合格者発表については、11ページをご確認ください。

(カ) 注意事項

激しい咳を何度もしているなどの理由により、本学が試験の続行に影響があると判断した場合、追試験の対象者とする場合があります。

11 学部別入試担当

私費外国人留学生選抜に関して不明な点等がある場合は、以下の学部別入試担当に問い合わせてください。

学 部	担 当	住 所	電 話
文 学 部	文学部担当 (社会文化科学研究科等学部教務学生グループ)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7370
法 学 部	法学部担当 (社会文化科学研究科等学部教務学生グループ)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7364
経 済 学 部	経済学部担当 (社会文化科学研究科等学部教務学生グループ)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7365
理 学 部	理学部事務室教務学生担当 (自然系研究科等事務部)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-7778
医 学 部 医 学 科	医学部医学科担当 (医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ)	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1	(086) 235-7020
医 学 部 保 健 学 科	医学部保健学科担当 (医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ)	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1	(086) 235-7984
歯 学 部	歯学部担当 (医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ)	〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1	(086) 235-6627
薬 学 部	薬学部教務学生担当 (医歯薬学総合研究科等薬学系事務室)	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1	(086) 251-7923
工 学 部	工学部担当 (自然系研究科等事務部学務課)	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1	(086) 251-8020
農 学 部	農学部事務室教務学生担当 (自然系研究科等事務部)	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1	(086) 251-8286

日本留学試験については、以下に問い合わせてください。

独立行政法人 日本学生支援機構
日本留学試験受付センター
〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2
八王子 SIA ビル7階
電 話 0570-55-0585
(一部携帯電話、IP電話及び海外からの電話は、
042-649-9571 をご利用ください。)

12 受験者心得

(1) 受験教科(科目)

- ① 定められたすべての教科(科目)を受験しなければなりません。一部の教科(科目)でも受験しなかった者は受験を放棄したものとみなされ、失格となります。
- ② 理科(受験科目を選択して受験する場合)の受験科目は、試験室で選択してください。

(2) 試験場・試験室

2022年2月24日(木)10時頃から試験当日まで、配置図を試験場玄関に掲示しますので、各自が受験する試験室及び試験場本部を確かめておいてください。ただし、原則として、試験場の建物内に入ってはけません。

(3) 集合時刻

各自の受験する各教科等の試験開始25分前までに、割り当てられた試験場に集合してください。

なお、この時刻までに掲示をよく読み、用便等も済ませておいてください。

また、試験当日は、交通渋滞によるバス等の遅延が予想されますので、早めに試験場に着くようにしてください。

(4) 試験室への入室

各自の受験する各教科等の試験開始20分前のサイレン又は振鈴で試験室に入室し、入室後は、直ちに自分の受験番号の表示してある席に着席し、監督者の指示を待ってください。

なお、指示があるまでは絶対に問題及び解答用紙冊子に触れてはいけません。

また、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、オーディオプレーヤー等は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。

(5) 遅刻者

遅刻時間が試験開始後30分を超えたときは、入室を許可しません。30分以内のときは、試験場入口の受付又は試験室の監督者に申し出て、その指示に従ってください。

(6) 携行品

- ① 岡山大学受験票、2020年度日本留学試験又は2021年度日本留学試験の受験票、筆記用具(鉛筆、ボールペン又はシャープペンシル)を持参してください。このほか、消しゴム、鉛筆削り、鉛筆キャップ、時計(辞書や電卓等の機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・大型のものを除く。)、三角定規、コンパス、定規、眼鏡は机の上に置くことができます。

なお、下敷の持ち込み、計算機の使用は許可しません。また、試験時間中は「電動式鉛筆削り」及び「時計のアラーム」は使用してはいけません。

- ② 前記①以外の携行品は、カバン等にまとめて座席の下に置いてください。

(7) 受験票

- ① 試験場の建物に入るときは、岡山大学受験票を提示できるよう、あらかじめ準備しておいてください。
- ② 岡山大学受験票、2020年度日本留学試験又は2021年度日本留学試験の受験票は、着席後、机の上の受験番号票の手前に置いてください。

(8) その他の注意

- ① 問題冊子、下書き用紙は必ず持ち帰ってください。
- ② 試験室に入室してから試験終了まで退室は認めません。ただし、試験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。なお、面接の場合は試験場係員の指示に従ってください。
- ③ 試験中、用便などで席を立ちたいときは、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- ④ 監督者の指示に従わないとき又は不正行為をしたとき若しくはしようとしたときは、失格とします。

- ⑤ 岡山大学受験票を紛失した方又は忘れた方は、試験当日、試験場本部に届け出て「仮受験票」の交付を受けてください。
- ⑥ 試験場の建物内では、静粛にしてください。また、敷地内での喫煙は禁止します。
- ⑦ 試験期間中、受験者及び付添者の自動車の構内乗入れ及び駐車は禁止します。
なお、バイクは構内入口でエンジンを停止し、押して、指定された場所に駐車してください。
- ⑧ 試験当日は本学構内の食堂、軽食施設での食事提供は行いません。昼食を持参し、試験室の自席で昼食をとってください。

麻しん（はしか）・インフルエンザに注意

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、発熱、咳、鼻水といった風邪症状の後に発しんと高熱が現れ、脳炎などを併発して重症化することもあります。非常に感染力が強く、予防には生後1歳以降に2回のワクチン接種が必要です。未だの場合は医療機関に相談の上、必要な回数のワクチン接種を受けてください。

インフルエンザも感染力が非常に強く、ワクチン接種は予防手段の一つです。岡山大学を受験するに当たっては、日頃のうがいや手洗いの励行などの体調管理とともに、これらウイルス感染症対策に留意してください。

その他、水痘（水ぼうそう）、風しん、流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふく風邪）もワクチン接種で予防可能な感染症であり、麻しんと同様に2回の接種が必要です。特に、入学後に病院実習が予定されている医・歯学部、薬学部薬学科、教育学部養護教諭養成課程を受験される方は、あらかじめ予防接種を受けて記録を保存しておいてください。

以上のワクチン接種を終えられた方には、加えて髄膜炎菌ワクチンの接種をお勧めします。特に、寮や合宿など集団生活を予定されている方にはお勧めです。（※これらワクチン接種は全て自費となります）

詐欺まがいの行為に注意

例年、岡山大学試験場及び岡山駅周辺において本学職員を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

試験当日、本学職員が以上の行為をすることは一切ありません。

不審者を見たり、声をかけられたりしたら、本学職員（『岡山大学』の腕章着用）まで連絡してください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、試験当日はマスクの着用をお願いします。やむを得ずマスクを着用できない方は、事前に岡山大学学務部入試課（086-251-7192～7194）までお知らせください。

試験場に入る際には、試験場入口等に設置しているアルコール消毒液での手指消毒にご協力ください。
また、試験の7日程度前から、毎朝必ず検温の上、体調の変化の有無を確認してください。試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は、試験場へ入館する際、本学職員へその旨を申し出てください。

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



STEP

2



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/okayama-u/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>

からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。マイページ登録は随時可能です。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
番号メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **58021** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

受付完了後、募集要項記載の日時に受験票ダウンロード通知がメールで送信されます。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



Famiポート

FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

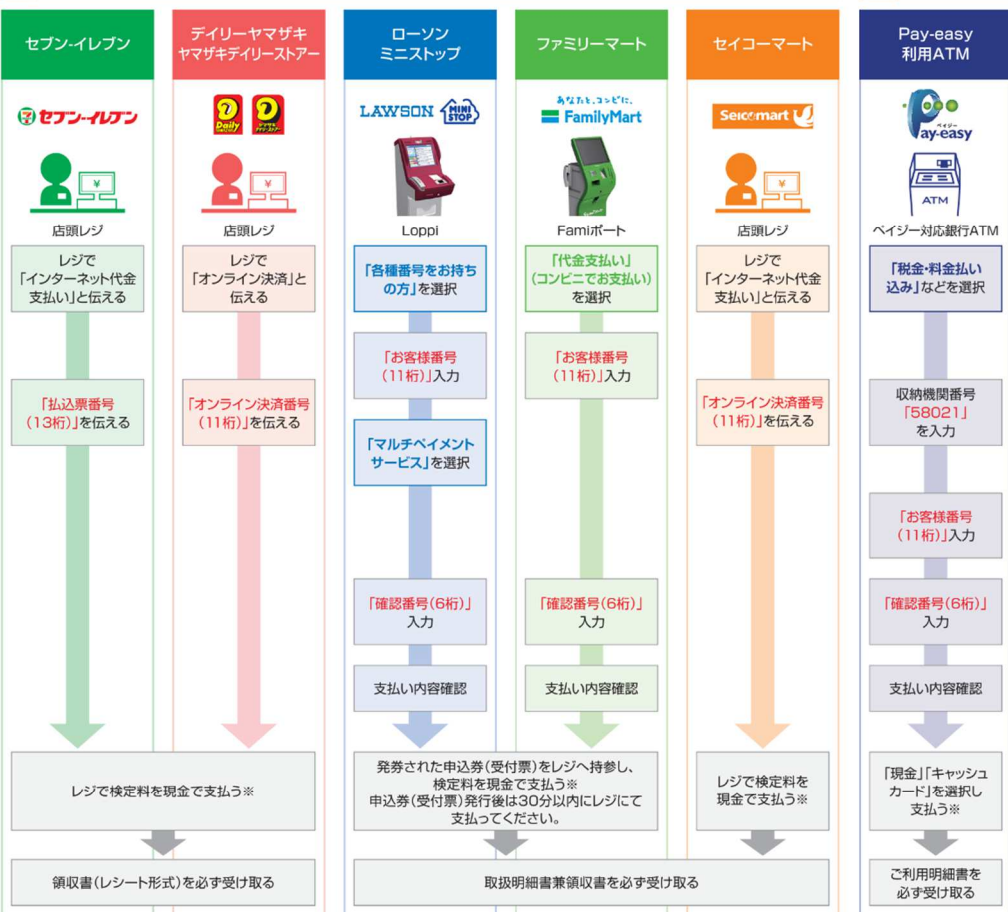
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。

必要書類は4～6、20ページを参照して準備してください。



出願書類の郵送先は各募集要項を参照してください。



出願書類提出用封筒宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
封筒に貼り付けて作成

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各募集要項を参照してください。

※いったん受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票・写真票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。



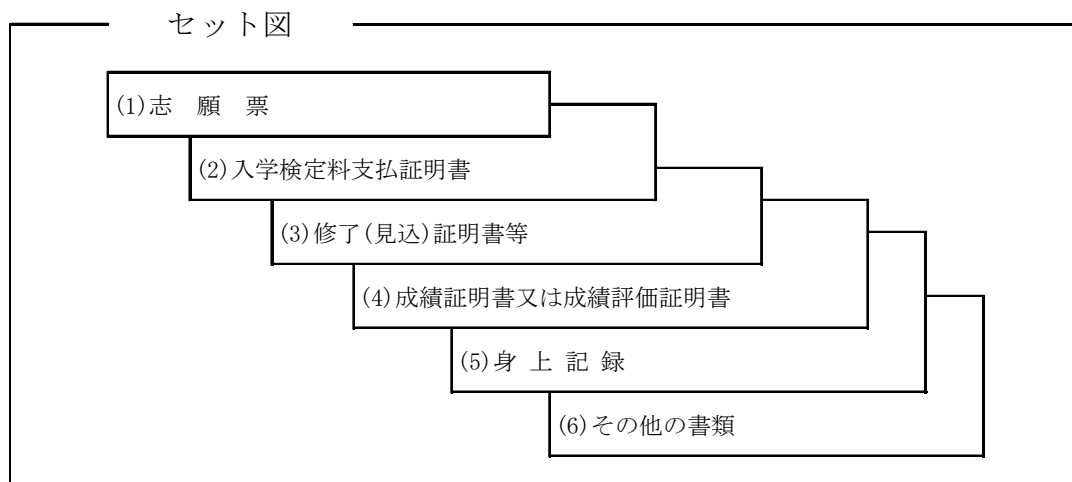
【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。

(注) 送付された願書等が本学に到着した後に、到着した旨の連絡はいたしません。また、配達されているかを確認する場合は、「郵便追跡サービス」をご利用ください。

【URL : <https://trackings.post.japanpost.jp/services/srv/search/>】

14 出願書類の整理

出願書類は、(1)「志願票」、(2)「入学検定料支払証明書」、(3)「修了(見込)証明書等」、(4)「成績証明書又は成績評価証明書」、(5)「身上記録」、(6)「その他の書類(2020年度日本留学試験又は2021年度日本留学試験成績確認書又は成績通知書の写し(コピー)、住民票等)」, の順に、ばらばらにならないよう以下のとおりセットして、「出願書類提出用封筒」に入れて提出してください。



15 出 願 上 の 注 意

- (1) 出願後の志望学部・学科等及び書類内容の変更は認められません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- (3) 出願書類に、次のような不備があるものは受理しません。
 - ① 志願票等に不備があるもの
 - ② 入学検定料に不足のあるもの
 - ③ 必要な証明書等が添付されていないもの

16 受験票ダウンロードについて

【STEP 1】志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ以下のとおり受験票ダウンロード通知メールを送信します。



no-reply@e-apply.jp
岡山大学 出願手続 受験票印刷可能メール

【e-apply インターネット出願サイト】
岡山大学 出願手続 受験票印刷可能メール

このたびは、出願サイトをご利用いただき、誠にありがとうございます。
受験票の印刷が可能となりましたので、お知らせいたします。

■以下のURLから、受験票を印刷してください。
<https://e-apply.jp/ds/okayama-u/public/login>

■受付番号
123456789012
※受験番号ではありません。

■注意
○試験当日は、印刷した受験票を持参してください。
○スマートフォン等の画面表示による受験票の提示は認めません。
○本メールは入試が終了するまで大切に保管してください。

本メールは、送信専用メールアドレスから配信されています。
返信をいただいてもお答えできませんので、ご了承ください。

※受験票ダウンロード通知メールは、2022年2月4日（金）に、出願時に登録したメールアドレスへ送信します。

【STEP2】受験票ダウンロード通知メールを受信後、マイページにログインします。マイページにログインするには出願登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。

なお、受験票ダウンロード通知メールが届かない場合であっても、出願が受理されていれば、インターネット出願のページ (<https://e-apply.jp/ds/okayama-u/>) からマイページにログインすることで、受験票のダウンロードができます。

The screenshot shows the Okayama University Internet Application Page. The main header includes the university logo and navigation links. The central area features a large image of the university campus with the text '岡山大学インターネット出願ページ' and 'OKAYAMA UNIVERSITY / INTERNET APPLICATION'. Below this, there is a section for login. A red box highlights the 'ログイン' (Login) button, which is located next to a 'マイページ登録' (My Page Registration) button. The login form itself is shown in an inset, with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' button.

【STEP3】ログイン後、マイページより受験票（PDF）をダウンロードし、カラー印刷して、試験当日に持参してください。

The screenshot shows the 'マイページ' (My Page) of the Okayama University Internet Application System. The page header includes the university logo and navigation links. The main content area is titled 'マイページ 岡山大学へようこそ'. Below this, there is a section for '出願申込一覧' (Application List). A red box highlights the '受験票' (Examination Ticket) link, which is located next to a '志願票' (Application Form) link. The page also displays application details such as '支払日時: 2021/04/16 18:01', '受付番号: [redacted]', and '入試区分: 一般選抜 (前期)'. A red box also highlights the '出願申込済(支払済)' (Application Completed (Payment Completed)) status.

(注1) 「受験票」のリンクは、受験票ダウンロードができる状態になると表示されます。

(注2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なため、大切に保管しておいてください。

17 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談期限	2021年11月19日(金)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」に医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添付して相談してください。
書類提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1 岡山大学学務部入試課 電話 (086)251-7192～7194

ただし、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しい方で、代筆による解答を希望される方は、できるだけ早い時期に相談してください。

なお、事前相談書には、志望するすべての学部・学科等を記入するとともに、迅速な相談結果の通知、特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間等を考慮し、少しでも早く相談してください。

また、「事前相談書」提出後、志望学部・学科等を変更する場合には、直ちに申し出てください。

「岡山大学出願に伴う事前相談書」は、次のいずれかの方法で入手してください。

- (1) 岡山大学ホームページ (<https://www.okayama-u.ac.jp>) からダウンロードしてください。
トップページ → 受験生の方 → 学部入学試験／入学資格審査・障がい等のある方の出願の順にクリックしてください。
- (2) 岡山大学入試課窓口で受け取ってください。

18 受験生宿泊申込

受験に際して、ホテル・旅館等への宿泊を希望する場合は、『2022年度岡山大学受験宿泊・サポート案内』（以下URL参照）をご覧ください。

【問い合わせ先】

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学生活協同組合 受験宿泊係

電話 (086)256-4130 (10時00分～17時00分 土・日・祝日は休み)

(<https://vsign.jp/okadai/hotel/>)

19 入試情報の開示

2022年度入試の入試情報開示を希望する方には、ホームページ掲載の『入試情報の開示』により、2022年5月2日（月）～5月31日（火）の間に開示します。

(注1) 入試情報の開示には、マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。

(注2) 一部の教科（科目）でも受験しなかった者及び選考を辞退した者は、入試情報開示の対象となりません。

【問い合わせ先】 〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学学務部入試課（大学会館1階）

電話 (086)251-7192～7194

【URL】 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/kaiji01.html>

20 アドミッション・ポリシー等

(URL <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/undergraduate.html>)

〔岡山大学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）〕

岡山大学では、各学部所定の期間在学し、所属学部の定める授業科目を履修して、所定の単位数を取得し、以下の学士力を基本的に修得した学生に学位を授与する。

人間性に富む豊かな教養【教養】

世界の多様な課題に対して関心を持ち、主体的な課題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、先人の足跡に学び、人間性や倫理観に裏打ちされた豊かな教養を身につけている。

目的につながる専門性【専門性】

専門的学識と時代を担う技術を身につけているとともに、それらと自然・社会とのつながりを意識し、持続可能な社会の実現に貢献できる。

効果的に活用できる情報力【情報力】

必要に応じて自ら情報を収集・分析し、正しく活用できる能力を有するとともに、効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

多様性や包摂性といった共生・共創のための国際感覚とともに、社会生活に求められるコミュニケーション能力を有し、持続可能な社会の実現に向けて、的確に行動できる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

自立した個人として能力や強みを発揮し、生涯にわたって自分と他者または社会とのつながりの中で調和を保ちつつ、人類全体の発展に貢献できる。

〔岡山大学カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）〕

岡山大学は、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、目的につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯にわたる自己実現力）を備え、世界の多様な課題に取り組むことのできる人材を育成するため、教養教育科目および専門教育科目を提供しています。

教養教育科目は、全学部の学生が共通に受ける授業と位置付け、学生自身の専門に偏ることのないよう、幅広い学問領域の科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。また、専門教育科目は、学生が属する学部・学科等に特有の授業内容で構成され、各学部・学科等の教育目的に則した科目群の履修を求めるカリキュラムを設定しています。これら教養教育科目ならびに専門教育科目を体系化したカリキュラムを編成し、学生に提供します。

また、『人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築』という本学の目的を踏まえ、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成を意識した学修方法・学修過程、学修成果の評価に取り組んでいます。

〔岡山大学アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）〕

教育内容・特色

岡山大学は社会に開かれた大学として、質の高い教育と先導的な研究を实践し、「高度な知の創成と的確な知の継承」を実現するための中核的な役割を担っています。

教養教育科目および専門教育科目を体系化したカリキュラムの形で学生に提供することにより、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、目的につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯にわたる自己実現力）を備え、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。

求める人材

岡山大学は、本学での教育に必要な資質と基礎学力を有し、本学での主体的な学修を通じて持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身に付けることに強い意欲を持つ人を、多様な入試方法により国内外から広く受け入れます。

入学者選抜の基本方針

各学部学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

〔各学部のアドミッション・ポリシー等〕

〔文学部〕

教育内容・特色

人文学科1学科制のもとで、「哲学・倫理学」「芸術学・美術史」「地理学・社会学・文化人類学・社会文化学」「心理学」「歴史学・考古学」「言語学・現代日本語学」「日本語・日本文学」「外国語・外国文学」の8つの教育分野を設け、幅広い学習を保証しています。1年次生は「人文学の基礎」を含む教養教育科目に加え、「人文学入門演習」「人文学の論点」などの専門教育科目を履修することを通して、人文学のエッセンスを学ぶとともに、専門分野の決定に結びつけていきます。2年次以降の学生は、「人文学概説」で各分野の学問の体系的な知識を身につけ、「人文学講義」で研究の最先端の成果を学びます。また「実践演習」「課題演習」では、研究方法に関する指導を受けながら、学びの集大成としての卒業論文に取り組みます。複数の分野にまたがる履修や分野を超えて開設されるテーマ型の科目群であるクラスターの履修を推奨するとともに、資格取得のためのプログラムや留学を目指す外国語習得プログラムを通じて豊かな経験と感性を育み、人間の築き上げた文化に対する理解を深めます。そして、複雑で多様な現代社会を生き抜くために必要な思考力と表現力を身につけ、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。

求める人材

文学部人文学科では、高校で履修した基礎的な知識を備え、課題を発見し解決していく意欲と能力をもち、論理的な思考とそれを的確に表現する力量を備えている人を求めます。入学後は次のような人材に成長できる人を求めています。

1. 哲学・倫理・芸術に関心をもち、幅広く本や芸術作品に親しんでいる人
2. 心や行動、社会や文化、それらと自然環境との関係や地域性に関心をもち、自ら情報を収集して、データに基づいた議論に取り組める人
3. 日本と世界の歴史や異文化に関心があり、斬新な発想と論理的な思考で、過去と現代のつながりを学ぼうとする意欲のある人
4. 言葉そのものの仕組みや歴史、言葉の多様性と普遍性、地域・社会・文化と言葉の関係などに関心や問題意識があり、それらについて科学的に研究する方法を学びたいと思っている人
5. 言葉と文化に対する感性を養いつつ、人間および世界について問うことで、現代社会と積極的に関わろうとする意欲をもつ人
6. 地域・世界のあり方を把握し、持続可能な社会を実現することに強い意欲を持つ人

入学後の学修のため、特に以下の教科の内容を修得していることが望まれます。

【国語、外国語、地理歴史、公民】

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。日本語作文を課し、人文学を学ぶ上で重要な論理的思考力、読解能力、表現能力を評価します。また面接を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や人文学科への適性を評価します。これらを総合して最終的な評価をします。

〔法学部〕

教育内容・特色

持続可能な社会の実現に向けて、現実社会で生起する諸課題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に課題を解決できる法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸課題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断してこうとする人
3. 持続可能な社会の実現といった世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

入学者選抜の基本方針

法学部での学習にあたっては、世界への関心を持つと同時に、自分の考え方とは異なる考え方を含めて様々な考え方について、思いつきや感覚的な判断に終始するのではなく、理論的に検討しつつ再構成してゆく作業を着実に進めることが求められます。

こうした資質があるかどうかは、高校までの学習を着実に積み上げてきた結果としての学力を基本にして判断されます。

法学部 法学科(昼間コース)

教育内容・特色

持続可能な社会の実現に向けて、現実社会で生起する諸課題に対して柔軟かつ適切な判断を行うため、法学および政治学を学ぶことを通して、以下の能力の発展・向上を目指します。

1. それぞれの法分野について基礎的な知識と理論を修得し、論理的かつ合理的に課題を解決できる法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 政治や社会について多角的な視点から理解し、現代社会に生起する諸課題を自ら発見し解決しようとする意欲と能力
3. 国際社会に関する理解をもち、グローバル化・情報化する社会で活躍できるコミュニケーション能力と情報活用能力

求める人材

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、以下のような資質をもった学生を求めます。

1. 社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする人
2. 自ら課題を発見し、ねばり強く考え、自ら判断していこうとする人
3. 持続可能な社会の実現といった世界の動きに関心があり、グローバルな視点をもって活躍したいという意欲のある人

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力および基礎学力を評価します。小論文では、法学・政治学を学ぶ上で特に重要な、読解能力、論理的思考力、表現能力を評価します。また面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心と自己表現力や意欲など法学・政治学を学ぶ上での適性を総合的に評価します。

〔経済学部〕

教育内容・特色

経済学・経営学・会計学の専門知識と分析力を身に付けるための講義科目に加え、アクティブ・ラーニング（AL；学生自ら積極的に参加する授業形態）を中心とする演習・研究等の少人数・双方向型科目群が用意されています。これらの特色ある教育内容により、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を育成しています。

経済学部には昼間コースと夜間主コースがあり、それぞれのコースに特色を持ったカリキュラムが用意されています。

求める人材

経済学部は、以下のような学生がそれぞれの個性を生かしながら学び、将来の進路・目標を考えてゆくことを期待します。

1. 経済問題・社会問題・持続可能な社会の実現に関心がある人
2. 論理的に考えること、もしくは数学を用いた分析が好きな人
3. 発言や行動が積極的で、民間企業、官公庁、NGOやNPO等の組織の中でリーダー的な役割を果たしたいと望む人
4. 英語をはじめとした外国語を駆使して、国際的な舞台で活躍したいと希望する人
5. 弱者にたいする思いやりと社会における公正を大切に、人々のために働く情熱を持った人
6. 本学部での主体的な学修を通じて、持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身につけることに強い意欲を持つ人

なお、入学後の学修のため、入試方法に関わりなく、国語・数学・外国語の各教科科目に関しては、高等学校卒業レベルの基礎学力を有していることが求められます。

入学者選抜の基本方針

昼間コースのアドミッション・ポリシーを参照ください。

経済学部 経済学科(昼間コース)

教育内容・特色

経済学・経営学・会計学の専門知識と分析力を身に付けるための講義科目に加え、アクティブ・ラーニング（AL；学生自ら積極的に参加する授業形態）を中心とする基礎研究・卒業研究等の少人数・双方向型科目群が用意されています。

専門教育は、経済学・経営学・会計学の学問分野を分類した5つの専門科目群に、アクティブ・ラーニング主体の実践型科目群、外部講師による社会連携型科目群等を加えた合計8つの科目群（ユニット）から成り、それらの組合せに応じて5つの大科目群（モジュール）が構成されます。同一モジュール内の科目を履修（系統履修）していくと領域内の専門性を高めることができ、複数のモジュールに跨って履修（横断履修）すると専門知識を体系的に広げていくことができます。具体的なモジュールとして、経済分析モジュール、政策モジュール、国際比較モジュール、組織経営モジュール、会計学モジュールがあります。学生は、自分が将来就きたい仕事を早くから意識して、細やかな履修指導を受けつつ、モジュールやユニットを適切に選択し履修することによって、自らの関心や進路に合致した専門的知識・能力を身につけ、それをさらに高め広げていくことができます。これらの特色ある教育内容により、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。

求める人材

経済学部は、以下のような学生がそれぞれの個性を生かしながら学び、将来の進路・目標を考えてゆくことを期待します。

1. 経済問題・社会問題・持続可能な社会の実現に関心がある人
2. 論理的に考えること、もしくは数学を用いた分析が好きな人
3. 発言や行動が積極的で、民間企業、官公庁、NGOやNPO等の組織の中でリーダー的な役割を果たしたいと望む人
4. 英語をはじめとした外国語を駆使して、国際的な舞台で活躍したいと希望する人
5. 弱者にたいする思いやりと社会における公正を大切にして、人々のために働く情熱を持った人
6. 本学部での主体的な学修を通じて、持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身に付けることに強い意欲を持つ人

なお、入学後の学修のため、入試方法に関わりなく、国語・数学・外国語の各教科科目に関しては、高等学校卒業レベルの基礎学力を有していることが求められます。

選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験とTOEFLまたはTOEICの成績提出を課し、入学後の学修に必要な基礎学力と日本語能力・英語能力を評価します。また小論文により、経済学部における学修に必要な知識・思考力・読解力・文章表現力を評価します。さらに書類審査と面接により、経済・社会問題および持続可能な社会の実現にたいする知識・関心と思考力・コミュニケーション能力・勉学意欲・適性を総合的に評価します。

〔理学部〕

教育内容・特色

理学部は、数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科の5学科に加え、臨海実験所、界面科学研究施設の2附属施設から構成されています。理学部では、4年一貫の少人数教育を採用しています。1年次では教養科目を学びつつ各学科で基礎的な専門科目を学びます。2・3年次では研究活動に関連する専門科目を学び、4年次で特定のテーマに沿った課題研究（卒業研究）やセミナーなどを通じて専門知識を究めます。これらの教育を通じて、物事や身のまわりのさまざまな事象の本質をつかみ、論理的に思考できる能力を養成し、以下のような人材を育成します。

1. 自然科学の幅広い分野の基礎知識を習得し、広い視野と柔軟な研究能力を身につけ、独創的な研究を推進できる人材
2. 習得した専門分野の知識を活用する能力を持ち、自らが新しい分野に積極的に挑戦できる人材
3. 幅広い教養と英語によるコミュニケーション能力を身につけ、グローバル化が進むこれからの世界で活躍し、広く国際社会に貢献できる人材

求める人材

理学部では、基礎的かつ総合的な学力を重視しつつ、以下のような意欲と能力をもった学生を求めています。

1. 自然科学の基礎を学び、その知識や能力を社会で活かしたいと考える人
2. 自然現象を原理や法則から理解したいと考える人
3. 真理探究への情熱をもっている人

入学後の学修のため、以下の科目の内容を習得していることが望まれます。

【数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B】

【理科：各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。】

【外国語（英語）：コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ】

入学者選抜の基本方針

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

理学部 数学科

教育内容・特色

数学科では、数や空間をはじめとする現代数学の諸概念と、それらの調和があやなす美しい理論の体系を学びます。基礎から無理なく学べる独自のカリキュラムを設け、コンピュータを用いた情報関連科目の教育にも力を入れています。

1学年20余名の仲間とともに4年間学ぶ中で生まれる親密な雰囲気と、約15名の教員によるきめ細かな指導も本学科で学ぶ大きなメリットです。数学の学習を通して得られる柔軟な発想力や論理的思考力は、情報化され激しく変化する現代社会を生きて行く上でも、心強い味方となるでしょう。

このような恵まれた環境の中で、次のような能力の発展・向上を目指します。

- ・確かな基礎学力のもとに筋道を立てて問題解決にあたる能力
- ・自ら必要な文献および資料を収集し効果的に活用する能力
- ・自分の考えをわかりやすく伝えるコミュニケーション能力
- ・他者の立場を尊重し自らを省みる謙虚さをもって行動する能力

求める人材

数学科では、次のような学生を求めています。

1. 大学において数学を学ぶための基礎学力を備えている人
2. 数学に対するセンスと愛情を持っている人
3. 自らの考えを論理的に表現できる人

入学後の学修のため、数学は以下の科目の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B】

また理科は以下の科目（物理、化学、生物、地学）のうち複数の科目を履修していることが望まれます。

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

高校卒業程度の基礎知識を身につけているとともに、数学に対する知的好奇心や探求心を有する人を選抜します。日本留学試験と個別学力試験(数学、理科(1科目)、外国語(英語))を課して幅広い基礎学力を評価し、面接(口述試験を含む)では、数学を学ぶための意欲の高さと適性を評価します。

理学部 物理学科

教育内容・特色

物理学科では素粒子・宇宙物理学から物質科学まで多岐にわたり、自然界の基本法則を探究する研究が行われています。

1, 2 年では、力学・電磁気学・熱力学・量子力学といった基本的な物理学の基礎を勉強します。3 年次にはより専門的な相対論・素粒子物理・超伝導・磁性の授業が始まり、4 年次には、各研究室に所属し、世界最先端の科学に触れ、卒業研究を行います。

さらに高度な研究は大学院で行われます。研究手段は理論・実験があり、これらの中で各自学生が主体的に興味ある研究分野を見つけ、物理学の研究を行います。これらの講義・演習・研究を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力の発展・向上を目指します。

- ・物理に関する知識を習得し、科学的知識を通じて論理的に考え判断することができる能力
- ・問題発見とその解決、新しい現象や考え方の探求により広く社会に貢献できる能力

求める人材

1. 自然科学の基礎としての理科(物理)を学び、研究し、社会で活かしたいと考える人
2. 基本法則から自然現象を理解し、説明したいと考える人
3. 知識を発展させ、実際に使ってみたいと考える人

物理学の研究では、学力・知識だけでなく、自然界の基本原理と法則の探求に対する好奇心と情熱、そして、日々の努力が重要です。共に物理学の探求について語り合える熱意ある学生達が集まることを期待します。

入学後の学修のため、物理学科では、以下の科目の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学 I、数学 II、数学 III、数学 A、数学 B】

【理科(物理)：物理基礎、物理】

【外国語(英語)：コミュニケーション英語 I、コミュニケーション英語 II、コミュニケーション英語 III、英語表現 I、英語表現 II】

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

大学における教養教育を受けるために必要な基礎学力と幅広い知識に加え、物理学の専門教育を受ける上で必要な学力と学習意欲・熱意を持つ人を選抜します。日本留学試験を課すことにより基礎学力を検査します。個別学力試験においては、数学・理科(物理)・外国語(英語)の学力検査により学力を評価し、面接(口述試験を含む)により物理学を学ぶ上での学習意欲と熱意を評価します。

理学部 化学科

教育内容・特色

理学部化学科は、広い視野・論理的な思考力・科学的モラル・高い研究能力・行動力と国際性を身につけ、自然科学、特に物質に関する専門知識をいかして、新しい分野に積極的に挑戦できる研究者や、教育を含めた社会の諸分野で活躍できる人材の育成を目的としています。このため、物質の構造・物性・反応性をミクロとマクロの視点から多面的に理解することができるよう、充実した化学関連分野の講義と実験を通し、広範な化学の領域を体系的に学びます。また、自然科学のみならず社会科学や地球規模の諸問題も理解し、人類の持続的発展に貢献できるように、多彩な教養教育科目および自然科学関連基礎科目も選択し勉強します。さらに、分子や分子集合体の幾何学のおよび電子の構造の解析、物質の構造と物性および反応性との相関の分子レベルでの解明、高機能性や生理活性を有する新物質の創製などをめざす最先端の研究を課題研究として自ら実施することで、社会の要請に応える高度な専門知識と実践的な技術の獲得を目指します。

求める人材

化学の知識は長い間の人類の英知の結晶であることを理解し、広く社会に貢献できる専門性の高い確かな実力を身につけた人材を養成するため、化学科では次のような人物を求めています。

1. 化学および関連分野の基礎的事項を習得し、それらを体系的に組み立てながら科学の未踏分野に挑み、その解明に貢献しようとする人
2. 新規な機能をもつ物質の創製や新しい化学的手法に基づいて、地球温暖化・環境・エネルギー資源など人類が直面している問題の解決に意欲をもつ人

また、化学および自然科学の研究では、学力・知識だけでなく、自然の仕組みや基本法則の探求に対する好奇心と情熱、そして日々の努力が重要です。熱意を持って未知の課題に取り組める人が集まることを期待しています。

入学後の学修のため、以下の科目(物理、化学、生物、地学)から、化学を含む2科目以上の内容を修得していることが望まれます。

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

高校卒業程度の基礎学力と幅広い知識を有し、自然の仕組みや基本法則に興味を持つ人を選抜します。日本留学試験では化学を含む理科2科目・数学・日本語を課して基礎学力を評価します。個別学力検査では理科（化学）・数学・外国語（英語）を課して、より専門的な学力とともに、面接（口述試験を含む）により意欲の高さと適性を評価します。

理学部 生物学科

教育内容・特色

生物学科では、動物、植物、藻類、バクテリアなど様々な生物を材料に、生物学の様々な分野（分子、遺伝、細胞、光合成、遺伝子発現、発生、神経、内分泌、環境、進化など）で先端的な研究を行っている教員が教育を担当しています。1、2年次では、基礎生物学、細胞生物学、分子生物学、生化学などの生物学の基礎を勉強します。3年次ではこれらの科目をより高度化したものや演習・実習を行い、4年次では各研究室に所属し、学生が主体となって卒業課題研究を行います。卒業課題研究の内容を発展させ、高度化した研究は大学院で行われます。これらの講義・演習・研究を通して、次のような能力の発展・向上を目指します。

- ・ものごとを広い視野で見る能力
- ・科学的・論理的に考え、判断する能力
- ・生物に関する専門知識を活かして社会に貢献する能力

生物学科の教育内容には次のような特色があります。

1年次から学生各自が興味を持つ研究分野の研究室を訪問し、3年次後半から研究室に仮配属し、早い段階から最先端の研究に触れることができます。

求める人材

1. 生物学に興味を持ち、積極的に生物に関する基礎知識を学び、様々な生命現象の本質を理解する意欲がある人
2. 個人が持つそれぞれの独創的な発想能力を活かして研究を推進したいと思っている人
3. 生命科学の知識、解析技術や考え方を社会で活かしたいと考えている人

生物学科では、生命現象の基本法則への探求に対する強い好奇心と情熱を持ち、努力を惜しまない学生が集まることを期待しています。入学後の学修のため、以下の科目（物理、化学、生物、地学）のうち複数の科目を習得していることが望まれます。

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験の成績をもとに、高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、授業を日本語で受けられる程度の日本語能力を有する人を選抜します。個別学力検査では、面接（口述試験を含む）により、生物学を学ぶための意欲の高さと適性を総合的に評価します。

理学部 地球科学科

教育内容・特色

地球科学科では、1、2年次では、地球科学の基盤となる岩石鉱物学、地球化学、地球物理学、大気科学の基礎を講義や実験で学びます。3年次では、各分野のより高度な内容の講義や実験、野外での実験・巡検（実習科目）を受講します。講義科目と実験・実習・演習科目の連携により、観察・観測－考察－報告という自然科学の方法論を身につけます。4年次には、研究室に配属し課題研究を行います。これらの教育を通して、次のような能力の発展・向上を目指します。

- ・自然現象を広い地球科学的視野で見る能力
- ・論理的な思考力と課題解決能力
- ・これらの能力を用いて社会の諸分野で活躍できる能力

地球科学科の教育内容には次の特色があります。

高校で地学を履修していなくても基礎から学べます。地球科学の全般を網羅した偏りのないカリキュラムです。野外調査の実際を体験する実習や巡検なども充実しています。

求める人材

1. 理科・数学の基礎的な学力があり、地球の歴史や地球の内外で起こる諸現象に強い関心を持っている人
2. 幅広く柔軟な思考ができ、問題の解決に意欲を持っている人

地球科学科では、野外での観察や観測、屋内での実験やコンピュータシミュレーションなど様々な実験・実習・演習が行われます。それらを楽しみとする元気な学生の入学を期待しています。

入学後の学修のため、数学については、以下の科目の内容を

【数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B】

理科については、以下の科目（物理、化学、生物、地学）の中から2科目の内容を修得していることが望まれます。

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、地球の歴史と地球内外で起こる諸現象に強い関心を持っている人を選抜します。個別学力検査では、外国語（英語）、数学、理科（物理、化学、生物から1科目選択）を課し、面接（口述試験を含む）により地球科学を学ぶための意欲の高さと適性を評価します。

〔医学部〕

教育内容・特色

医学部は、高度な教養、専門性、情報力、行動力および自己実現力を身につけて、未来の医療を担い医学をリードする医療人と医学・保健学研究者を育成します。医学は、人類の健康と福祉に貢献することを使命とします。従って、その育成には、医学に関する知識と技術の修得とともに豊かな人間性の教育が強く求められます。わたしたちは「あなたのそばに先進医療」を原点理念とし、その実現に向けて特色ある教育を行っています（詳細は各学科の「教育内容・特色」を参照ください）。

求める人材

医学部では、未来の医療と医学を支える医療人および医学・保健学研究者にふさわしい人として、各学科・専攻で実施される専門教育の学修に必要な基礎学力と語学力、コミュニケーション能力を有し、医療人および医学・保健学研究者としての知的探究心と高い志を持ち、入学時点で相応した倫理観と豊かな人間性を備えた人を求めています。入学後の学修のため、高等学校において修得していることが望まれる教科は、国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科です（詳細は各学科の「求める人材」を参照ください）。

選抜の基本方針

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

医学部 医学科

教育内容・特色

医師・医学研究者の育成には、科学知識と技術の修得とともに豊かな人間性の教育が強く求められます。医学科の使命は、「医の倫理に徹し、科学的思考法と高度の医学的知識を体得し、社会的信頼を得るに足る臨床医並びに医学研究者を養成し、もって人類の健康と福祉に貢献する」ことです。特色ある6年間の医学教育を経て、医学・医療の進歩、社会のニーズに対応して絶えず医療の質の向上に努め、生涯にわたり社会へ貢献できる、世界に通用する医療人を育成します。

求める人材

医学科では、将来の医学・医療の担い手として次のような人材を求めています。

1. 医師に必要な使命感、豊かな人間性、高い倫理観、コミュニケーション能力を持っている人
2. 医学・医療の進歩に対応するために必要な、幅広い基礎的学力と語学力、問題解決能力を持っている人
3. 知的探究心が強く、とくに生命科学に対して深い関心を持っている人

高等学校において、論理的思考力を身につけ、筋道の立った文章を書き、自然科学の基礎知識と思考方法を習得しておくことが必要です。入学後の学修のため、高等学校において修得していることが望まれる教科は、国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科です。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

本学の定めた出願資格を満たしている者に対して、書類審査、日本留学試験（日本語、数学コース2、生物および他1科目理科）を課し、日本の高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力試験では数学・理科2科目・外国語（英語）を課し、医学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度を評価します。さらに面接を課し、将来の医学・医療の担い手としての適性を総合的に評価します。

医学部 保健学科

教育内容・特色

医学部保健学科には、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の3つの専攻がありますが、3専攻に共通して、ヘルスケアの専門家になるべく、医学を包含する保健学について、段階的・体系的・包括的に学び、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。そのことを通して、次のような能力の発展・向上を目指します。

- ・人間性に富む医療のための豊かな教養を身につける能力
- ・様々な健康状態にある人々の健康推進のための専門性を習得する能力
- ・健康ニーズに応え、効果的に活用できる情報を発信する能力
- ・医療・保健に関するリーダーとして行動できる能力
- ・健康的な生活を生涯にわたり自己実現する能力

医学部保健学科の教育内容には次の特色があります。

4年間かけて、医療従事者として最も重要な「チーム医療」の理念と實際を体得するための演習や、保健学に関する専門教育科目を多く履修し、各専攻の専門領域の基礎知識を学びます。さらに、本格的に附属病院等で臨地実習を受け、実習と平行して、指導教員毎に研究室に配属され、ゼミナール形式で、研究の基礎を学ぶとともに、教員の指導の下に卒業論文を完成させます。

最終的には、それぞれの専攻が目指す国家資格（看護師、保健師、診療放射線技師、臨床検査技師等）の国家試験が行われ、基本的には全員が目指す職種の実験を受験することになります。

求める人材

本学での教育に必要な資質と基礎学力を有し、本学での主体的な学修を通じて持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身につけることに強い意欲を持つ人、さらに以下のような人を、多様な入試方法により国内外から広く受け入れます。

1. 高い倫理観と豊かな人間性や感性をもつ人
2. 好奇心にとみ、自由な発想と知的探究心の強い人
3. 自らの課題に主体的に取り組み幅広く学ぶ意欲のある人
4. 他者への共感と洞察力を備え、細やかな心遣いのできる人

入学後の学修に向けて高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力、論理的な思考力と分析力を養ってください。特に、生命や複雑な自然現象を理解するために、総合的な国語力、理科（物理、化学、生物）に関する基礎的な力を身につけてください。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。学力検査では数学・理科2科目（看護学専攻では理科1科目）及び外国語（英語）で日本人受験生と同一の試験を課し、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。面接では大学で学ぶ目的意識と意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など多面的な質問を行い、医療・保健の専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。

〔歯学部〕

教育内容・特色

歯学部の使命は良き歯科医療人を育成し、歯科医学を研究し、発展させることです。社会のニーズの多様化と国際化が急激に進む中で、歯科医療もますます高度化しつつあります。歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視した人材育成を行っています。

歯科医学は幅広い総合的な学問領域です。歯学部では自然科学から人文、社会科学的な分野の教育、研究も行われています。文系・理系に関わらず、さまざまな学生が活躍できる学部です。

求める人材

次のような熱意のある人を求めています。

1. 歯学教育を受けるに十分な基礎学力を持っている人
2. 他人を思いやる優しさと高い倫理観を持っている人
3. 何事にも意欲的に取り組むことができる人
4. 生命科学・健康科学に強い好奇心と探究心を持っている人
5. 歯科医師として国民の健康、福祉・介護、さらには国際医療に貢献したいという明瞭な目的意識を持っている人

入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと。

高校では特定の科目に偏ることなく、授業に意欲的に取り組んでください。知識を習得するだけでなく、様々な社会の問題に関心を持ち、そして自分の考えをもって行動する姿勢は、歯学分野において社会に貢献するための基礎となる全人的な能力の育成に必要不可欠なものです。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験の日本語・数学・理科（2科目）を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また前期日程の個別学力検査と同一の問題を用いて数学と理科（2科目）の学力を評価します。さらに小論文と面接により論理的思考力、表現力、歯学に対する好奇心、歯科医療に貢献したいという熱意、そして倫理観やコミュニケーション能力を総合的に評価します。

〔薬学部〕

教育内容・特色

薬学とは、以下の各要素からなる、複合的な学問分野です。

- 1) 解析：生命現象、疾病原因の分子基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質の活用法を最適化し、さらには新たな活用の方策を創案する。

岡山大学薬学部では、これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎、応用の科学、技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨します。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、持続的・恒久的な国際社会の発展に寄与する人材を育成します。

このため、薬学部では所属学生に対し、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、薬学科では特にヒトに対する物質の「活用」を担うための専門的知識を身につけた人材（薬剤師）を、創薬科学科では、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成し、人々の健康の維持・増進に、持続的・恒久的に寄与することを目指します。

求める人材

薬学とは、化学、生物学、物理学などの基礎科学からバイオテクノロジーなどの応用科学までも含んだ生命科学であり、人間の生命・生活にとって有益な「薬」を開発、製造、適正使用するための科学技術の基本となる学問領域です。岡山大学薬学部では、入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれかと化学）、外国語（英語）、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに薬学部では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 優れた倫理観を有する人
2. 目的意識と情熱を持っている人
3. 豊かな人間性を備え、人とのかかわりを積極的に持とうとする人

入学者選抜の基本方針

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

薬学部 薬学科

教育内容・特色

薬学科では、ヒトの健康を目的として物質を活用する。すなわち薬剤師としての業務を遂行するための専門的知識・技能・態度を教育します。さらに、これらを基にした解析・創出をも含む新たな知の創出を行うために、観察力・洞察力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会における医療・衛生分野の持続的・恒久的な発展に貢献する人材を育成します。

求める人材

入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれかと化学）、外国語（英語）、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに薬学科では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 薬剤師にふさわしい優れた倫理観を有し、研究心・探究心を持ち続け、高度な知識と最先端の技術を身につけた薬剤師として活躍したいと考えている人
2. 大学院（博士課程）進学後、薬学関連分野の研究者や教育者を目指したいと考えている人

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験（化学は必須）を課し、基礎学力ならびに日本語能力を評価します。その上で、理科2科目（物理・生物のいずれかと化学）・外国語（英語）の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また面接を課し、多面的な質問を行い、薬学科で学ぶ上での学習意欲、将来薬剤師として求められるコミュニケーション能力、倫理観、研究への関心の高さなど、適性を総合的に評価します。

薬学部 創薬科学科

教育内容・特色

創薬科学科では、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育します。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会における創薬・医療分野の持続的・恒久的な発展に貢献する人材を育成します。

求める人材

入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科（物理・生物のいずれかと化学）、外国語（英語）、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに創薬科学科では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 医療に関わる人にふさわしい優れた倫理観を有し、研究心・探求心を持ち続け、創薬関連分野で活躍したい人
2. 大学院（博士前期・後期課程）に進学し、将来の創薬科学を担う教育者や研究者として国の内外で活躍したい人

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験（化学は必須）を課し、基礎学力ならびに日本語能力を評価します。その上で、理科2科目（物理・生物のいずれかと化学）・外国語（英語）の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また面接を課し、多面的な質問を行い、創薬科学科で学ぶ上での学習意欲、研究心の高さ、コミュニケーション能力など、適性を総合的に評価します。

〔工学部〕

教育内容・特色

工学部では、ディプロマ・ポリシーを満足する人材を、カリキュラム・ポリシーに基づいて教育します。これらを達成すべく、次のような人が入学することを期待します。

人間社会と自然界の調和などの多様な問題に対して強い関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人
自ら好奇心を持って学習し、科学技術の発展とイノベーションの創出に主体的に取り組む意欲を持っている人
様々な分野の人と積極的にコミュニケーションを図り、互いに協力しながら創造的・計画的に行動できる人
高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、工学部における学習に関連する教科（数学、理科、外国語）に関する理解力と論理的思考による応用力を備えている人

その他の高等学校において修得していることが望まれる教科・科目については、各系のアドミッション・ポリシーの「求める人材」を参照してください。

入学者選抜の基本方針

各系のアドミッション・ポリシーを参照ください。

工学部 工学科 機械システム系

教育内容・特色

機械システム系では、工学部の方針に準じ、人や環境と調和し持続可能な社会に役立つ新しい機械やシステムを創造するための技術開発を行ったり、機械システムを設計、開発、管理、運用し、発展させたりすることができる、課題探求能力及びデザイン能力に優れ、高い倫理観を持って国際的に活躍できる機械システム技術者・研究者の養成を行います。

1・2年次には、工学部共通の専門基礎科目に加え、機械システムの基礎となる材料力学、熱力学、制御、機械工作とその関連領域に関する基礎知識を身につけるために、系専門科目を提供します。機械システム系では、広範囲な分野の専門的技術を学生の興味に応じて系統的に修得できるように、「機械工学コース」と「ロボティクス・知能システムコース」の二つの教育カリキュラムを設定しています。2・3年次には、機械工学分野、あるいは、ロボティクス・知能システム分野の専門知識と応用能力及びそれらを基に社会課題を発見し解決する能力を身に付けるために、コース専門科目として、専門性の高い講義や実験科目を提供します。さらに、4年次の特別研究等を通して専門知識の総合的応用能力と実践力を身につけた人材の養成を目指します。

求める人材

1. 人間社会と自然界の調和などの多様な問題に対して強い関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人
2. 自ら好奇心を持って学習し、科学技術の発展とイノベーションの創出に主体的に取り組む意欲を持っている人
3. 様々な分野の人と積極的にコミュニケーションを図り、互いに協力しながら創造的・計画的に行動できる人
4. 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、工学部における学習に関連する教科（数学、理科、外国語）に関する理解力と論理的思考による応用力を備えている人

工学部共通の上記の項目に加え、機械システム系ではものが創り出される仕組みや方法に興味を持ち、数学や物理の基礎学力を有し、新たな機械システムを開発しようとする意欲を持った人を期待します。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。TOEFL 又は TOEIC の成績の提出を課し、英語能力を評価します。数学及び理科の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また、小論文及び面接（口述試験を含む）を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や機械システム系への適性を総合的に評価します。

工学部 工学科 環境・社会基盤系

教育内容・特色

環境・社会基盤系では、工学部の方針に準じ、人間、社会、環境等のいずれにも配慮し、人類の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、以下で述べる特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の養成を行います。

都市環境創成コース及び環境マネジメントコースとともに、技術者教育の国際的同等性を確保するための技術者教育認定機関の世界的枠組みであるワシントン協定等の考え方に準拠した JABEE 認定プログラムに基づく教育体制を整えています。1 年次には教養教育科目、専門基礎科目、系科目を中心に、2 年次からは「都市環境創成コース」及び「環境マネジメントコース」に分かれて、それぞれのコース科目を中心に履修します。

都市環境創成コースは、「土木教育プログラム」と「建築教育プログラム」の2つの教育プログラムからなり、3 年次からそれぞれの専門科目を履修します。

環境マネジメントコースは、流域環境、生活環境、生態系保全、環境情報の4領域からなります。

環境マネジメントコースは3 年次に、また、都市環境創成コースは4 年次に教育研究分野（研究室）に配属され、専門性を深めます。いずれのコースも、4 年次より「特別研究」を通して、取り組むべき課題を発見し、その解決を目指します。

求める人材

1. 人間社会と自然界の調和などの多様な問題に対して強い関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人
2. 自ら好奇心を持って学習し、科学技術の発展とイノベーションの創出に主体的に取り組む意欲を持っている人
3. 様々な分野の人と積極的にコミュニケーションを図り、互いに協力しながら創造的・計画的に行動できる人
4. 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、工学部における学習に関連する教科（数学、理科、外国語）に関する理解力と論理的思考による応用力を備えている人

工学部共通の上記の項目に加え、環境・社会基盤系では、都市基盤の成り立ち、人間活動と環境との調和等に興味を持ち、自然科学を主体とした広範な学力を有し、自らのづくりや持続可能な社会の構築へと行動する意欲を持った人が入学することを期待します。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。TOEFL 又は TOEIC の成績の提出を課し、英語能力を評価します。数学及び理科の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また、小論文及び面接（口述試験を含む）を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や環境・社会基盤系の学問への適性を総合的に評価します。

工学部 工学科 情報・電気・数理データサイエンス系

教育内容・特色

情報・電気・数理データサイエンス系では、工学部の方針に準じ、人間、社会、環境等のいずれにも配慮し、地球環境問題はもとより社会的課題をも解決し持続可能な社会を実現するため、情報通信技術、エネルギー技術、データ分析・活用技術などの基礎研究と応用研究に邁進する人材の養成を目指しています。以下で述べる特長ある教育プログラムを通じ、これらの先端技術を国内外及び地域に還元できる高度専門技術者及び研究者を養成します。

1・2 年次には、工学部共通の専門基礎科目に加え、情報知能工学、通信ネットワーク工学、電気電子工学、数理・データサイエンスの専門分野の基礎知識を身に付けるための系科目を提供します。情報・電気・数理データサイエンス系では、広範囲な分野の専門的技術を学生の興味に応じて系統的に修得できるように、「情報工学コース」、「ネットワーク工学コース」、「エネルギー・エレクトロニクスコース」、「数理データサイエンスコース」の4つの教育カリキュラムを設定しています。2・3 年次には、情報知能工学、通信ネットワーク工学、電気電子工学、数理・データサイエンスの各分野における諸問題を発見・把握し、的確に理解する能力を身に付けるために、コース専門科目として専門性の高い講義や実験、演習科目を提供します。さらに、4 年次の特別研究では、3 年次までに修得した基礎知識や専門知識を実際に用いて課題解決に取り組むことで、実践的な人材養成を行います。

求める人材

1. 人間社会と自然界の調和などの多様な問題に対して強い関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人
2. 自ら好奇心を持って学習し、科学技術の発展とイノベーションの創出に主体的に取り組む意欲を持っている人
3. 様々な分野の人と積極的にコミュニケーションを図り、互いに協力しながら創造的・計画的に行動できる人
4. 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、工学部における学習に関連する教科（数学、理科、外国語）に関する理解力と論理的思考による応用力を備えている人

工学部共通の上記の項目に加え、情報・電気・数理データサイエンス系では情報知能工学、通信ネットワーク工学、電気電子工学、数理・データサイエンスに興味を持ち、数学、理科、外国語の基礎学力を有し、科学や技術の発展と社会に貢献する意欲を持った人を期待します。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。TOEFL 又は TOEIC の成績の提出を課し、英語能力を評価します。数学及び理科の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また、面接（口述試験を含む）を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や情報・電気・数理データサイエンス系への適性を総合的に評価します。

工学部 工学科 化学・生命系

教育内容・特色

化学・生命系では、工学部の方針に準じ、人間、社会、環境等のいずれにも配慮でき、優れた機能を持つ材料の創製や生産技術の革新、人類の存続と繁栄の鍵となる資源・エネルギーの有効利用技術、さらに生命現象の工学的利用など、基礎研究と応用研究に邁進する人材の養成を目指しています。以下で述べる特長ある教育プログラムを通じ、先端的な研究成果を国内外及び地域に還元できる高度専門技術者、若手研究者の涵養を推進します。

1・2年次には、工学部共通の専門基礎科目に加え、無機化学、物理化学、有機化学及び生化学とその関連領域に関する基礎知識を身につけるために、系共通専門科目を提供します。化学・生命系では、広範囲な分野の専門的技術を学生の興味に応じて系統的に修得できるように、「応用化学コース」と「生命工学コース」の2つの教育カリキュラムを設定しています。2・3年次には、応用化学分野や生命工学分野に関する諸問題を発見・把握し、的確に理解する能力を身に付けるために、コース専門科目として、専門性の高い講義や実験科目を提供します。さらに、4年次の特別研究や特別演習では、3年次までに修得した基礎知識をさらに深化させるとともに、幅広い知識を有する多様な人材の養成を目指します。

求める人材

1. 人間社会と自然界の調和などの多様な問題に対して強い関心を持ち、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人
2. 自ら好奇心を持って学習し、科学技術の発展とイノベーションの創出に主体的に取り組む意欲を持っている人
3. 様々な分野の人と積極的にコミュニケーションを図り、互いに協力しながら創造的・計画的に行動できる人
4. 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、工学部における学習に関連する教科（数学、理科、外国語）に関する理解力と論理的思考による応用力を備えている人

工学部共通の上記の項目に加え、化学・生命系では、化学や生命科学に興味を持ち、それらの基礎となる数学や理科をしっかりと理解しており、化学や生命科学の技術を使って社会に貢献する意欲を持った人を期待します。

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。TOEFL 又は TOEIC の成績の提出を課し、英語能力を評価します。数学及び理科の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また、小論文及び面接（口述試験を含む）を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や化学・生命系への適性を総合的に評価します。

〔農学部〕

教育内容・特色

農学部総合農学科学科は、農芸化学コース・応用植物科学コース・応用動物科学コース・環境生態学コースの4コースによって組織されています。

農学部では、学生が幅広い教育科目を通じて適性を判断し、興味を持てる専門のコースおよび研究ユニットを選択することができます。1年次には一般教養科目の履修と並行して、農業科学の概要を把握するための専門基礎科目を履修します。2年次には各コースに所属して、専門科目を通じて自分自身の適性を見だし、3年次から順次、研究ユニットに所属します。4年次には卒業論文作成を目的に実践的研究を経験します。

このカリキュラムは、農学に関する幅広い基礎知識を修得し、その上にそれぞれの専門分野の知識を積み上げていくことができるのが特色です。農学部はこのカリキュラムのメリットを活かして、多様化する社会的要請に対応し、幅広く応用力を発揮できる人材の養成を目指します。

求める人材

1. 高等学校で、教育カリキュラムに興味をもって取り組み、積極的な学習姿勢を確立した人
2. 大学で、広く農学を学んだ上で専門的な学習をしたいという強い意欲をもつ人
3. 将来、実社会で農学はもとより様々な分野で活躍する強い意欲をもつ人、または、技術者や研究者として活躍する強い意欲をもつ人
4. 高等学校の卒業レベルの英語を含む幅広い基礎学力と理解力・思考力を有している人

入学後の学修のため、数学は以下の科目の内容を修得していることが望まれます。

数学（数学I、数学II、数学IⅡ、数学A、数学B）

また理科は以下の科目のうち複数の科目を履修していることが望まれます。

物理（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物（生物基礎、生物）、地学（地学基礎、地学）

入学者選抜の基本方針

・私費外国人留学生選抜

書類審査と学力検査等の結果を総合して選抜します。

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力ならびに数学・理科の理解度を評価します。

学力検査（外国語（英語）・理科）では、基礎的知識の理解度と応用力を評価します。

面接では、意欲、自己表現力と対話力、農学を学ぶ上で基盤となる科目の理解度と応用力を評価します。（書類審査は面接評価に含まれます）

2 1 学生生活等

(1) 入学料及び授業料

区分	金 額	備 考
入学料	282,000 円 (予定額)	入学手続き時に納入となります。(11 ページ参照)
授業料	前半期分〔4月～9月〕 267,900 円 (予定額) 後半期分〔10月～3月〕 267,900 円 (予定額) 年 額 535,800 円 (予定額)	① 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。 ② 2022年度前半期分の授業料の納入時期は、2022年5月になります。なお、納入方法の詳細は、入学手続き時に入学案内にてお知らせします。

(2) 入学料の徴収猶予等(大学独自制度)

経済的理由により入学料の納入期限までに納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、又は下記「ア又はイ」のいずれかに該当し、入学料の納入期限までに納入が困難であると認められる場合には、入学料の徴収猶予を申請することができます。(徴収猶予申請が認められた場合でも、納入すべき金額が減免されるわけではありません。)

ア 入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡した場合

イ 入学する者もしくは学資負担者が大規模な災害や火災・風水害等の災害を受けた場合

※申請手続の詳細は、岡山大学ホームページ及び入学案内でご確認ください。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a1.html

○激甚災害による入学料及び授業料の免除

激甚災害(平成30年7月豪雨等)により被災した方については、下記問い合わせ先にご相談ください。

問い合わせ先(担当)

岡山大学学務部学生支援課(一般教育棟A棟2階)

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

入学料徴収猶予及び激甚災害による授業料等免除に関すること

電話:086-251-7211, TEL:+81-86-251-7211

※受付時間は、8時30分から17時00分です。(ただし、土・日曜日及び祝日は、窓口業務は行っておりません。)

(3) 外国人留学生宿舍

(OKAYAMA UNIVERSITY DORMITORIES FOR INTERNATIONAL STUDENTS)

留学生宿舍は、空室があれば入居できます。入居希望者が多い場合は、希望どおり入居できないことがあります。合格者には別途詳細をお知らせします。なお、金額は変更になることがあります。

【桑の木留学生宿舍】

定 員	対象	入居期間	寄 宿 料 等	所 在 地	そ の 他
150 人 ※2022 年度の募集予定 人員は男女とも、若干人	単身の 外国人 留学生	1 ヶ月～ 6 ヶ月	入寮費 30,000 円 寄宿料 月額 (予定額) 北棟 16,000 円 南棟 14,000 円 (インターネット 使用料含む) その他光熱水料等 は、別途各自負担	〒700-0084 岡山市北区 津島桑の木 町 6-1	北棟 (鉄筋コンクリート 3 階建) 居室は個室 (ベッド、机、椅子、書棚、ロッカー、冷暖房 機、ユニットバス、トイレ、IH キッチン、冷蔵 庫、インターネット回線完備) 南棟 (鉄筋コンクリート 5 階建) 居室は個室 (ベッド、机、椅子、書棚、ロッカー、冷暖房 機、ユニットバス、トイレ、ミニキッチン、冷 蔵庫、インターネット回線完備)

【国際学生シェアハウス】

定 員	対象	入居期間	寄 宿 料 等	所 在 地	そ の 他
30 ユニット *各ユニット 4 名 基本構成 外国人留学生 3 名 , 日 本人 1 名, 計 4 名 (男女別) ※2022 年度の募集予定 人員は男女とも、若干人	単身の 外国人 留学生	5 ヶ月以上 6 ヶ月以内	入寮費 30,000 円 寄宿料 月額 (予定額) 23,000 円 (インターネット 使用料含む) その他光熱水料は、 月額 5,200 円 (定 額、予定額)	〒700-0084 岡山市北区 津島桑の木 町 6-2	鉄筋コンクリート 5 階建 【ユニット内共有スペース】 玄関用靴箱、カーテン、冷暖房機、シャワール ーム、洗面所、洋式トイレ (ウォシュレットタ イプ)、キッチン設備 (流し台、吊り戸棚、IH 調理器)、食器棚、冷蔵庫、電子レンジ、電気 ポット、ダイニングテーブル (椅子 4 脚)、TV 端子、洗濯機、掃除機、物干し竿 (ベランダ)、 Wi-Fi 設備、懐中電灯 【各個人の専用個室】 机、椅子、本棚、クローゼット、ベッド (シン グル)、カーテン、冷暖房機、インターネット 回線 (有線)、Wi-Fi 使用可能

(4) 学生マンション・アパート等の紹介

学生マンション・アパート等を希望する学生に対しては、岡山大学生生活協同組合で紹介を行っています。詳細については、次にお問い合わせください。

連 絡 先 岡山大学生生活協同組合 電話 0120-633-006, TEL +81-86-256-4113
メールアドレス sumai@okadai.coop 受験生の合格前予約・新入生のためのお部屋探し
(<https://vsign.jp/okadai/rent>)

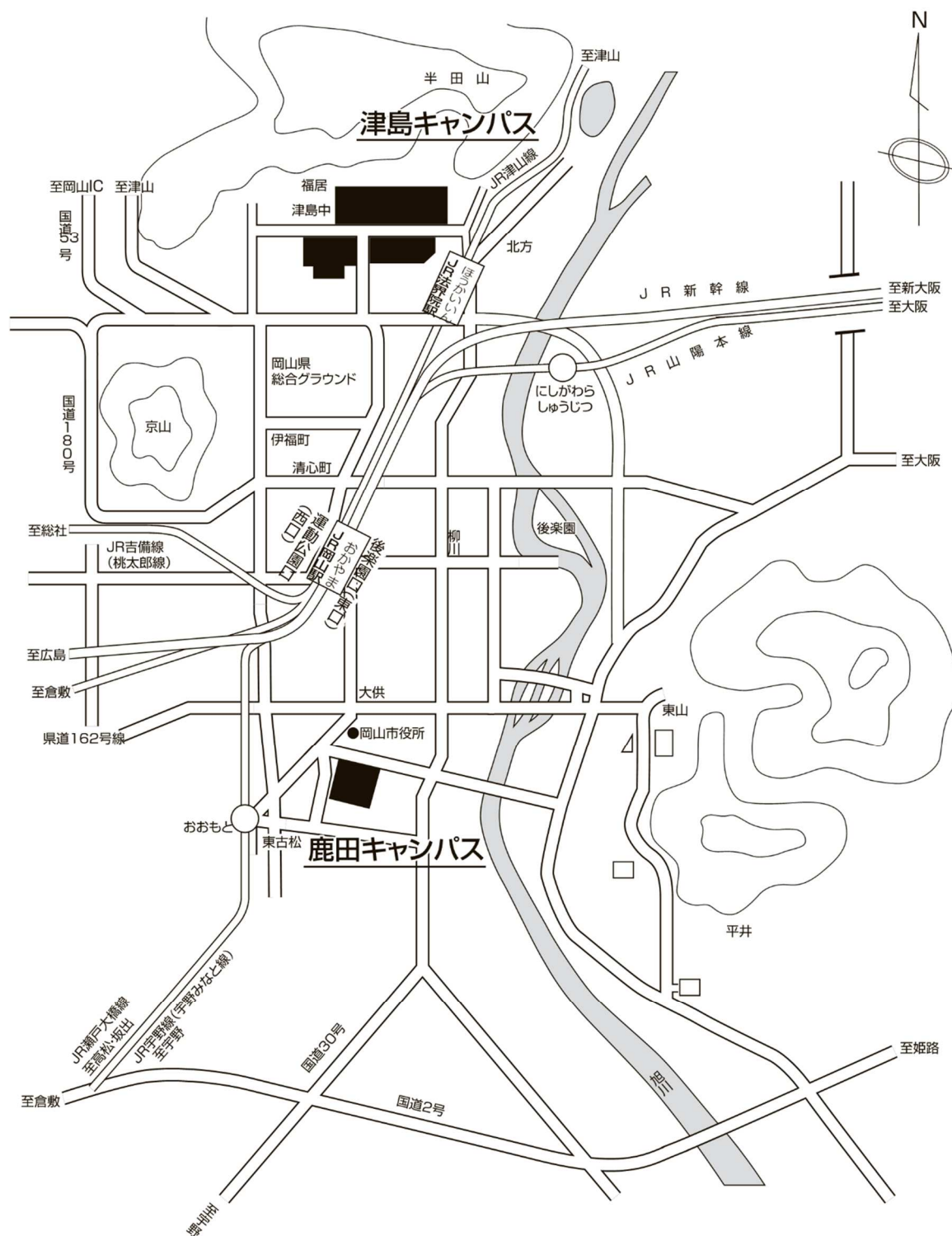
(5) 福利厚生施設

津島キャンパスには、マスカットユニオン (北福利施設)、ピーチユニオン (南福利施設) 及びピオーネユニオン (東福利施設) があり、施設内にブックストア、コンビニエンスショップ、食堂等があります。

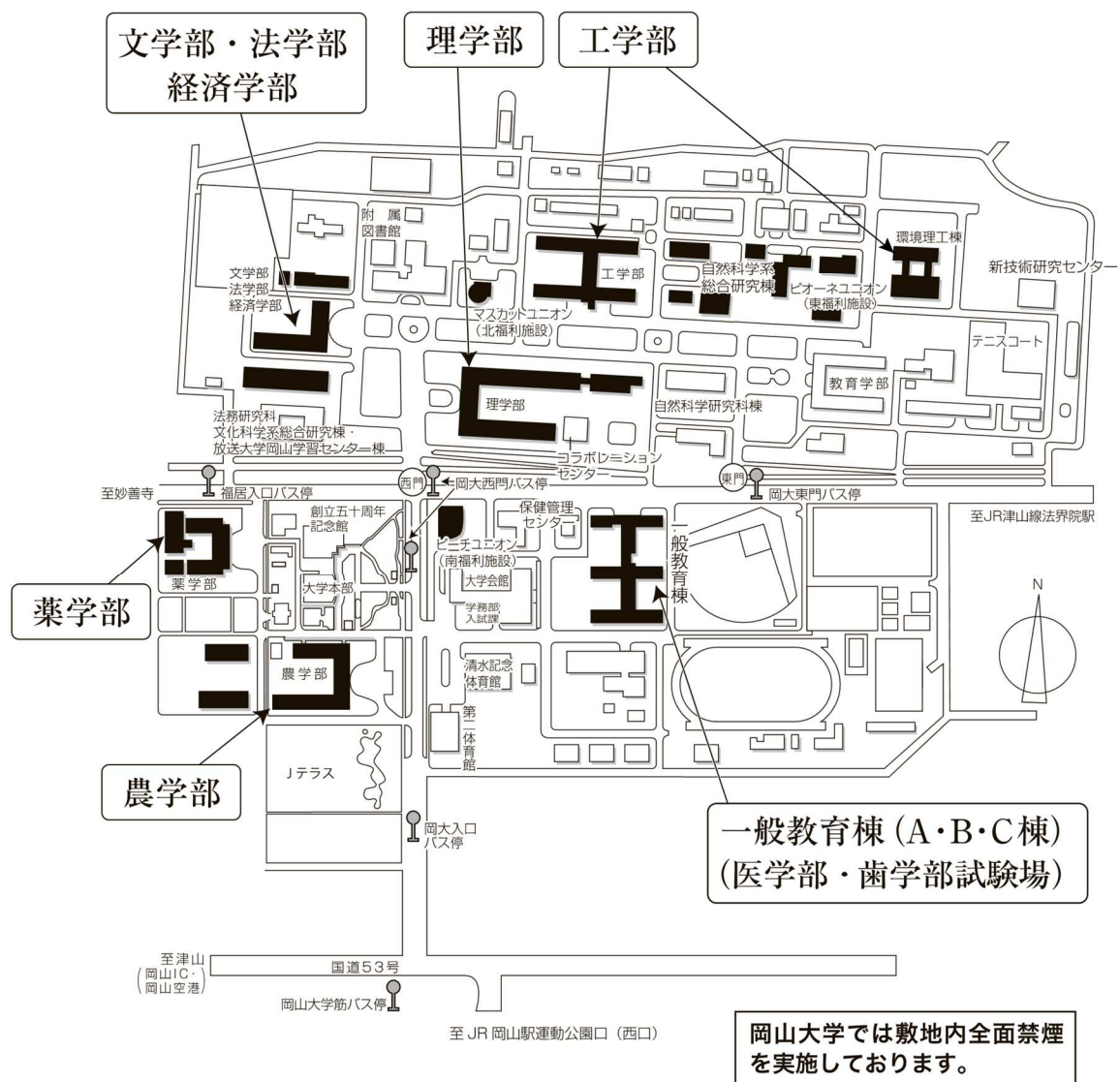
また、鹿田キャンパスには、医学部記念会館にコンビニエンスショップ及び食堂等があります。

22 大学案内図等

1 キャンパス案内図



2 津島キャンパス試験場配置図

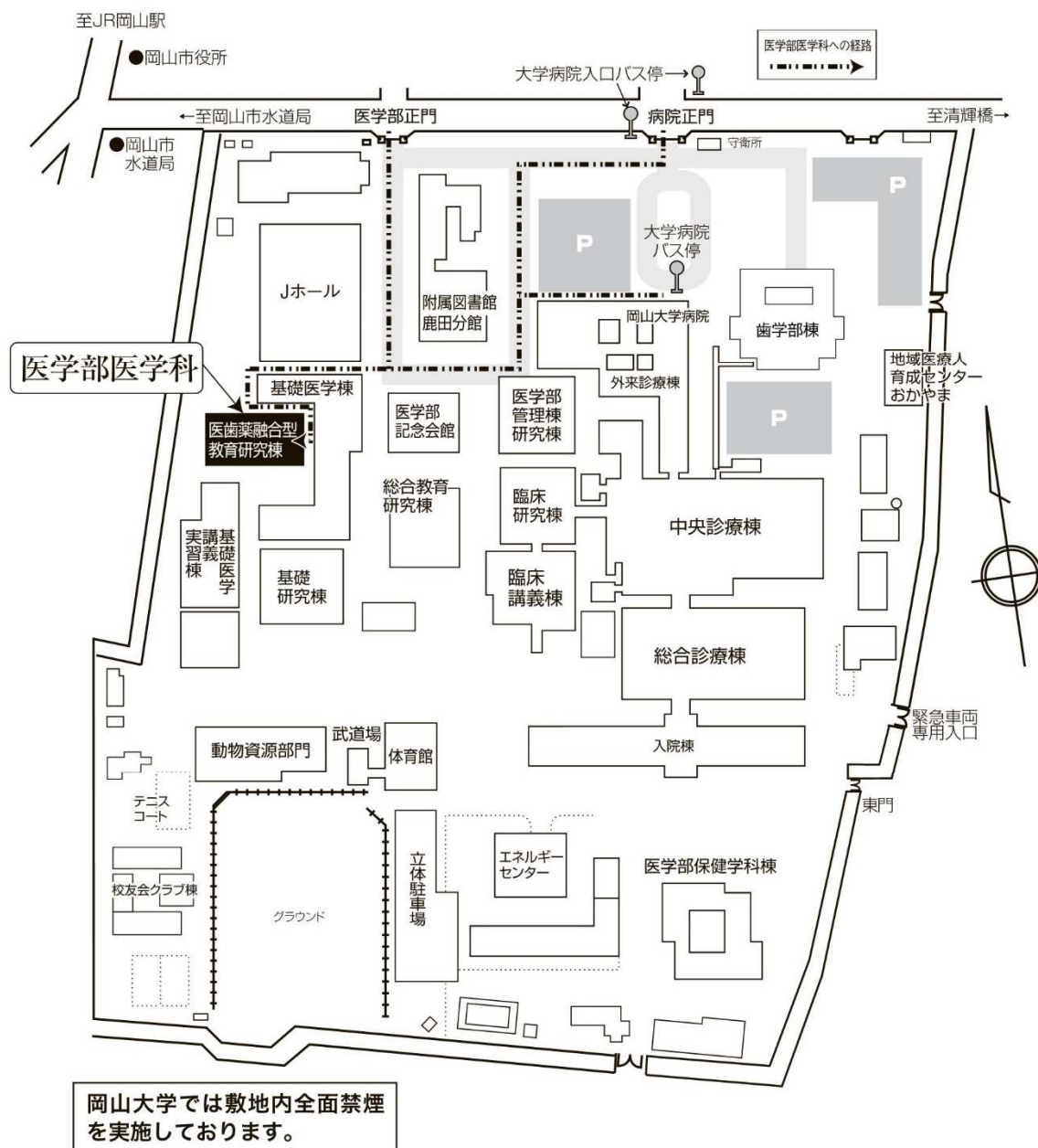


<試験場への経路>

- ① JR岡山駅運動公園口 (西口) バスターミナル22番のりばから岡電バス【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車, 「岡大入口」又は「岡大西門」で下車 (バス所要時間約10分)
- ② JR岡山駅後楽園口 (東口) バスターミナル7番のりばから岡電バス【16】系統「津高台・半田山ハイツ」行き, 【26】系統「国立病院」行き, 【36】系統「辛香口」行き, 【86】系統「免許センター」行きのいずれかに乗車, 「岡山大学筋」で下車, 徒歩約7分 (バス所要時間約10分)
- ③ JR津山線「法界院駅」で下車, 徒歩約10分

※ 記載のバス所要時間は通常の交通状況での見込み時間です。試験当日は交通渋滞が予想されます。

3 鹿田キャンパス試験場配置図



<試験場への経路>

- ① JR岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル4番のりばから岡電バス【2H】系統「大学病院」行きに乗車、「大学病院（構内）」で下車，又は，【12】系統「岡南営業所」行きに乗車，「大学病院入口」で下車（バス所要時間約15分）
- ② JR岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル3番のりばから岡電バス【22】系統「岡山ろうさい病院」行き，【62】系統「岡南飛行場」行きのいずれかに乗車，「大学病院入口」で下車（バス所要時間約15分）
- ③ JR岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル2番のりばから岡電バス【52】系統「大東」行きに乗車，「大学病院入口」で下車（バス所要時間約15分）

※ 記載のバス所要時間は通常の交通状況での見込み時間です。試験当日は交通渋滞が予想されます。

[illegible]



学 章

岡 山 大 学

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

<https://www.okayama-u.ac.jp/>